2021年度
学生募集要項

■ 総合型選抜
一般、グローバル人材育成奨学生選抜
帰国生徒、キリスト教学校教育同盟
スポーツ、同窓生徒、キリスト者

■ 公募制学校推薦型選抜
一般（F推薦・S推薦）
一般（併願推薦）

リベラルアーツ学群
College of Arts and Sciences

グローバル・コミュニケーション学群
College of Global Communication

ビジネスマネジメント学群
College of Business Management

健康福祉学群
College of Health and Welfare

芸術文化学群
College of Performing and Visual Arts

航空・マネジメント学群
College of Aviation Management

【重要】
新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、「面接・実技」試験はオンライン会議システム（Zoom）を利用して実施します。受験者は自宅等から「面接・実技」試験を受験することとなります。
そのため、試験当日はキャンパスへ来校する必要はありません。

●航空・マネジメント学群につきましては、専用の学生募集要項（別冊）を確認してください。

●この冊子の情報は2020年8月現在の情報に基づくもので、
新型コロナウイルス感染症の影響など諸般の事情により変更になる場合があります。
変更が生じた場合には、受験生サイトにて随時お知らせします。

桜美林大学
J. F. Oberlin University

目　次

入試概要

1. 学群別アドミッションポリシー …… 1
2. 出願から入学手続きまでの流れ …… 3
3. 募集人員 …… 5
4. 出願資格［全選抜共通］…… 6

出願条件・選抜方法等

1. 総合型選抜 …… 8
　1 一般 …… 10
　2 グローバル人材育成奨学生選抜 …… 12
　3 帰国生徒、キリスト教学校教育同盟 …… 15
　4 スポーツ …… 17
　5 同窓生徒 …… 18
　6 キリスト者 …… 19
2. 公募制学校推薦型選抜 …… 20
　1 公募制学校推薦型選抜 一般（F推薦・S推薦）…… 21
　2 公募制学校推薦型選抜 一般（併願推薦）…… 23
3. リベラルアーツ学群の領域選択について …… 25
4. グローバル・コミュニケーション学群の面接方法 …… 26
5. 芸術文化学群の審査方法 …… 27

出願手続

1. 出願書類（総合型選抜）…… 29
2. 出願書類（公募制学校推薦型選抜）…… 31
3. 出願上の注意 …… 32
4. 検定料 …… 32
5. デジタル受験票 …… 32
6. オンライン面接における注意事項 …… 33
7. 受験時および修学時に特別な配慮や支援が必要な方　33

合否照会・入学手続

1. 合否照会・合格通知（振込用紙）…… 34
2. 入学手続等（学納金の納入について）…… 34
3. 学納金 …… 35

個別の入学資格審査

「個別の入学資格審査」について …… 36

その他

1. 奨学金制度 …… 37
2. 学生寮 …… 37
3. 住まい紹介 …… 38
4. 入学後の学生生活について …… 38
5. 個人情報の取り扱いについて …… 38
6. 入学前教育 …… 38
7. JAPAN e-Portfolioの利用について …… 38
キャンパスについて
町田キャンパス・新宿キャンパス・
東京ひなたやまキャンパスへのアクセス…… 39

出願様式

入学志願者調書/自己申告書/志願者評価書/人物評価書/活動報告書/
活動報告書（芸術文化学群版）/小論文/キリスト教活動申告書/推薦書/
読書リポート/志望理由書/留学にかかる経費負担計画書/
個別の入学資格審査申請書

桜美林学園のミッション（使命）

桜美林学園の使命は、キリスト教主義に基づく人間教育を通して、神、人間及び社会のために貢献する人間を育成することです。それは、どのような環境の中にあっても、常に未来に希望を持ち、他者の痛みを理解できる人間でなければなりません。また、現代社会の多様な価値観に対応でき且つ創造力と判断力に富んだ人間を育てることです。

桜美林大学の教育目標

桜美林大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、豊かな人間性を涵養するため幅広い知識を授けるとともに、専門学芸の研究と教育を行い、キリスト教精神に基づいた教養豊かな識見の高い国際的人材を育成することを目的としています。

各学群の養成する人材等

■ リベラルアーツ学群

広範な知識と深い専門性に裏付けられた思考力、分析力、柔軟な発想力を身につけた人間性豊かな人材の養成等を目的として、総合的教養及び専門的基礎学術に係る教育等を行います。

■ グローバル・コミュニケーション学群

語学に長け、コミュニケーション能力が高く、分析や創造を伴う思考力と問題解決に向けた計画力や実行力を有する人材の養成等を目的とし、協働活動を通してグローバルリーダーシップの基礎基本を修養できる教育等を行います。

■ ビジネスマネジメント学群

●ビジネスマネジメント学類

国際社会で必要なビジネス感覚を養い、広範な知識から発想し、意思決定の行える、新しい経営マインドを備えた人材の養成等を目的として、幅広い職業人養成に係る教育等を行います。

●アビエーションマネジメント学類

確かな知識・技倆を身につけ、新しい経営マインドを備えた航空業界で活躍する人材の養成等を目的として、専門的な職業人養成に係る教育等を行います。

■ 健康福祉学群

専門領域における確かな知識・技術を身につけ、人々の願い、悩み、喜びに共感できる、感性豊かな人間性をそなえた健康と福祉のエキスパートの養成等を目的として、専門的な職業人養成に係る教育等を行います。

■ 芸術文化学群

演劇、音楽、造形デザイン、映画等の分野を幅広く追求し、アートの専門家として社会に通用するスキルを身につけた人材の養成等を目的として、総合的文化教育（芸術系分野）に係る教育等を行います。

TOEFL® is registered trademark of Educational Testing Service（ETS）. This publication（or product）is not endorsed or approved by ETS.
TOEIC® is registered trademark of Educational Testing Service（ETS）. This publication（or product）is not endorsed or approved by ETS or The Chauncey Group International Ltd.

桜美林大学のアドミッションポリシー　（学生の受入れ方針）

1. 輩出する学生像

桜美林学園のミッションは、キリスト教の精神を礎とし、教育や研究において誠実に真理を求め、隣人を思いやる心を持って、仕えることのできる人材を大学での学びと経験を通じて世に送り出すことです。

1921年5月に中国・北京から始まった学園の歴史的な観点を鑑みてもグローバル社会での活躍に必要不可欠な外国語運用能力、多様な文化的背景を持つ人々とともに生きる力を全ての学生に身につけさせます。さらに予測不可能な様々な社会問題を解決に導くことのできる教養を高め、これからの社会を担う人材を輩出することにあります。

2. 求める入学者

本学は、このミッションに共感し、本学の教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心が持てる学生等であることを期待します。また、主体的に学び、経験を積む姿勢、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人たちとコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

3. 入学までに身につけて欲しい能力と選抜方法

入学を希望する学生等には、以下の3点を身につけて入学してくることを求めます。

なお、選抜方法は、学群の特性も踏まえ、多様な入学者選抜制度を駆使して多角的に評価します。

①高等学校の学習指導要領に基づく学習範囲の知識・技能を修得していること。
（海外からの応募者はそれぞれの国や地域の高等学校までの課程を修了していること）

②高等学校までの学習や諸活動を通じて、様々な課題や困難に向き合い、その解決のために試行錯誤を繰り返す中で身につけた「思考力、判断力、表現力」があること。

③高等学校までの学習、部活動や外部のコミュニティ活動での共生、協働を通して、主体性や積極性を持って、チーム等で目標や課題に取り組んできた経験を有すること。

4. 入学者選抜の基本方針

「キリスト教精神を礎として、教育を通してグローバルな社会に貢献する人を育成する」ことが桜美林学園の建学の理念です。

また、学園の行動指針である「学而事人（がくじじじん）」（学んだことを人や社会のために役立てる）の精神を受け継ぎ、学園から巣立った後、困難な課題にも立ち向かい社会で活躍することが期待されています。

これからの社会に、「グローバルな人材」「『学而事人』の精神を受け継ぐ人材」を輩出しようとする本学は、教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心を持てる学生等であることを期待しています。

そして、主体的に学び、経験を積み、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人たちとコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

①総合型選抜

総合型選抜では、高等学校までに修得すべき基礎的な知識及び技能だけを評価するのではなく、以下のような観点から多面的な人物評価を行います。

【共通事項】

「建学の理念」と希望する学群の「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」の三つの方針を十分に理解しておく必要があります。

一次審査（書類審査）では、「基礎学力（知識・技能）」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的に評価します。

特に、高等学校時代の学びや活動を通して、主体的に取り組む姿勢、困難を乗り越える力、多様な価値観を受け入れようとする態度、他者とともに課題に向き合う行動力等を評価します。

二次審査（面接）では、出願書類に書かれた内容や意欲・人間性、高等学校までに身につけた「基礎学力（知識・技能）」に加え、「思考力・判断力・表現力」についても評価します。

【帰国生徒】（中国引揚関係者含む）

建学の理念に基づきキャンパスをよりグローバルな教育環境にすることを目的とし、国や地域、多様な価値観を持ち合わせる人々を積極的に受け入れています。 総合型選抜の基本方針に加え、海外での多様な経験に基づく力・外国語運用能力等を一次・二次審査で評価します。

【キリスト教学校教育同盟】

キリスト教学校教育の特色を理解する人々を積極的に受け入れることを目的としています。 総合型選抜の基本方針に加え、在籍したキリスト教学校教育同盟校での建学の理念に沿った特色ある学びや活動を通して得た知識や経験を一次・二次審査で評価します。

【スポーツ】

高等学校において本学が指定するスポーツ活動で優れた能力や実績を持ち、入学後もその活動を通して、本学や社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。

総合型選抜の基本方針において、それぞれの学群での教育を受けるために必要な基礎学力、及び本学が指定するスポーツ活動における能力や実績を評価します。

【同窓生徒】

建学の理念や教育活動を深く理解・共感する卒業生の子弟を積極的に受け入れることを目的としています。 総合型選抜の基本方針に加え、特色ある学びや活動に対する理解度と自らの学生生活における抱負について一次・二次審査で評価します。

【キリスト者】

キリスト教信仰に根ざして、本学入学後もクリスチャン活動を通して、本学や社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。

総合型選抜の基本方針において、それぞれの学群での教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。

加えて、本学の建学の理念に沿った特色ある学びや活動を踏まえて、キリスト者ならではの学生生活における抱負を一次・二次審査で評価します。

【特定の学群やコースでの評価について】

●芸術文化学群

各専修において、実技審査（作品審査を含む）または小論文と面接にて適性を評価します。

●グローバル・コミュニケーション学群

語学力やコミュニケーション力を評価するため、外国語（入学後に学修を希望する主たる言語）による面接も行います。

②学校推薦型選抜

学校推薦型選抜では、高等学校までに修得すべき基礎的な知識及び技能だけを評価するのではなく、以下のような観点から多面的な人物評価を行います。

【公募制学校推薦型選抜】

高等学校の学校長より推薦を受け、かつ本学の出願基準を満たす者が対象となります。 それぞれの学群での教育を受けるために必要な「基礎学力（知識・技能）」だけではなく、高等学校時代の学習や活動を通して「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」が身についていることが期待されます。

面接審査では、出願書類に書かれた内容や意欲・人間性、高等学校までに身につけた「基礎学力（知識・技能）」に加え、「思考力・判断力・表現力」についても評価します。

【特定の学群やコースでの評価について】

●芸術文化学群

各専修において、実技審査（作品審査を含む）または小論文と面接にて適性を評価します。

●グローバル・コミュニケーション学群

語学力やコミュニケーション力を評価するため、外国語（入学後に学修を希望する主たる言語）による面接も行います。

▶入試概要

1 学群別アドミッションポリシー（学生の受入れ方針）

■ リベラルアーツ学群

多文化理解を推し進め、一つの専門性だけにとらわれない学際的思考を駆使し、優れた分析・表現力をもって学問を通じた社会貢献を行う、国際性を有した「自立した学習者」（Independent Learner）を育成していきます。また、興味・関心や社会文化的背景の異なる多様な学生が集い、学び、知的刺激を与え合える教育の機会を提供します。そのため、本学群の学びは、幅広い学問に触れると同時に、本人の関心に応じて人文学、社会科学、自然科学のいずれかをより深く学び、拠って立つ足場、すなわち、学問的基礎を修得することからはじまります。
学生は、学問的基礎の修得を続けて各分野の専門性を深め、分析・表現力を養うと同時に、他の専門分野に対する理解や専門横断的な知見、俯瞰的な視野をあわせもち、一つの専門の枠に捕らわれない自由な学際的思考を身につけていきます。加えて、学生は、留学やサービス・ラーニングなどの体験を通して、自らが深い興味関心を抱いた事柄や、関わりを持ったコミュニティや社会の課題と向き合い、国際性や多様な文化を理解する力、学問を通じた社会貢献ができる力を身につけます。
このような力を養う理由は、未来を予測することが困難な時代の中で生き抜くためには、主体性や多様な価値観を尊重できる態度が求められているからです。

【求める学生像】
学群の教育システムに共感し、学修や経験を通して、成長を望み、これからの時代に自らの学びと経験を以て、貢献しようとする人たちを国や地域を問わず求めます。
また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。
(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(3) 広い分野の基礎的学力を持ち、人文学、社会科学、自然科学の領域・専門分野への強い関心を有する者
(4) 新しい分野への探求心と新たな体験へ挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ グローバル・コミュニケーション学群

グローバル化が加速する今日の社会において、高度な外国語コミュニケーション能力を基盤として、自らが関わるコミュニティの様々な課題に向き合い、積極的に課題解決に取り組むことのできる人材が必要とされています。
本学群では、基礎となる高度な外国語運用能力を修得します。その上で、直面する問題や課題に対し、多角的な視野と知識をもとに思考と分析を行い「実行可能な解決策を提示できる人材」、具体的かつ論理的に説明・説得するための「高いコミュニケーション能力を持つ人材」、コミュニティにおいて中核的な存在として「課題解決に向けてリーダーシップを発揮する人材」を育成していきます。

【求める学生像】
学群の教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。
また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。
(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者（特に外国語運用能力）
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(3) 世界の国や地域、及び自国に対して強い関心を有する者
(4) グローバルな社会において積極的に学修や経験に挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ ビジネスマネジメント学群

「国際性」に優れ、「奉仕の精神」と「おもてなしの心」、「コミュニケーション能力」と「情報リテラシー」を兼ね備えた人材を育成します。
さらに、所属する企業や各種機関、コミュニティにおいて、予測不可能な様々な課題に向き合い、「マネジメント能力」を駆使して、積極的に課題解決に取り組むことのできる力を身につけさせます。
特に、学修過程においては、理論と実践のバランスのとれた「マネジメント能力」を養うためにインターンシップ等の実習体験を積極的に展開していきます。

【求める学生像】
学群の教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。
また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身

につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(3) 社会の出来事、国や地域、企業などの取り組みに強い関心を有する者
(4) 社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ 健康福祉学群

加速する少子高齢化社会や多様化かつ高度化する福祉ニーズに対応できるプロフェッショナルを育成することを目的としています。
これらの分野で活躍するためには、乳幼児から高齢者までの人間の成長、発達や生活に関心を持ち、一つの専門領域にとどまることなく、広い範囲の知識や技術を身につけ、多角的な観点から総合的にものごとを考える力が必要となります。また、人々の願い、悩み、喜びに共感できる人間性も求められます。
そこで、学群制という教育システムに、「社会福祉」「精神保健福祉」「健康科学」「保育」の4つの隣接する学問領域を配置し、自らが興味関心を抱いたテーマやコミュニティ、社会の課題に取り組む中で、必要とされる実践力を身につけていきます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。
また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(3) 人々の健康、こころ、からだ、福祉に強い関心を有する者
(4) 社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ 芸術文化学群

グローバル化する社会において、他者理解を行う上で人間の営みと密接な関わりを持つ文化に対して、理論や歴史、表現を学ぶことは、多様な文化的背景を持つ人々とともに生きる力を身につけることになります。また、様々な創作活動の中で行われる試行錯誤は、予測困難な問題を解決に導くことのできる素養を高めることとなり、こうした力を持つ人材が、これからの社会で求められます。
一方、芸術の創作活動を通じて社会における芸術文化の発展に寄与する人材、専門家として作品やパフォーマンスを提供する人材は、高度な知識基盤社会において必要不可欠な存在であります。
本学群は、学群制という教育システムを通して、「演劇・ダンス」「音楽」「ビジュアル・アーツ」の三つの隣接する学問領域を配置し、自らが深い興味関心を抱いた表現やコミュニケーション方法と向き合う中で、必要とされる専門的知識と技術を身につけていきます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。
また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
(2) 創作活動や芸術鑑賞を通して、芸術の学術的な学びに求められる意欲と関心を有する者
(3) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(4) 芸術、文化、人、表現、コミュニケーション等に強い関心を持ち、創作活動やアートマネジメント等に積極的に挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

2 出願から入学手続きまでの流れ

Step 1 事前準備①

1 出願期間等の日程・出願書類を確認する

● 入試日程と出願書類の詳細は、以下のページを確認してください。

総合型選抜 ≫ 出願期間等の日程・・・P.9、出願書類・・・P.29・30
公募制学校推薦型選抜 ≫ 出願期間等の日程・・・P.20、出願書類・・・P.31

2 出願書類を作成・準備する

● 選抜方式ごとに必要な出願書類が異なります。

3 インターネット出願環境を整える

インターネット環境

インターネットに接続されたパソコン、タブレットを用意してください。接続状況が不安定になるスマートフォン、タブレットではインターネット出願が完了できない場合がありますので、利用環境が安定しているパソコンでの出願を推奨します。

顔写真データ

出願時にデータをアップロードします。

プリンター

「郵送ラベル」の印刷、「デジタル受験票」の印刷（A4サイズ推奨）に必要です。

メール受信許可

登録完了後、確認メールを送信します。携帯メールを登録する場合は、送信元（eraku-p.jp、obirin.ac.jp、obirin-application.jp）の受信を許可してください。

事前準備②

1 受験生向け「MY PAGE+」にアクセス

● 桜美林大学「受験生サイト」から受験生向け「MY PAGE+」にアクセスしてください。

桜美林大学「受験生サイト」» http://admissions.obirin.ac.jp/

※現住所が海外の方は、「MY PAGE+」に登録することができません。出願期間になりましたら、受験生サイトから登録してください。

2 ユーザー登録

● 「MY PAGE+」にてユーザー登録を行います。
● ユーザー登録では「ワンタイムパスキー」をメール受信することで設定するため、メールアドレスが必要となります。
● ユーザー登録が完了すると、確認メールが届きます。「MY PAGE+」を利用するのに必要な「ログインID」が通知されていますので、忘れないように控えておいてください。

⚠ 既に「MY PAGE+」をご利用いただいている方は、「②ユーザー登録」は不要です。

Step 2 「インターネット出願サイト」から出願する MY PAGE+

上記ユーザー登録した際に通知された「ログインID」で「MY PAGE+」にログインし、トップ画面から「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。以降、インターネット出願を利用する際には、「MY PAGE+」からアクセスします。

1 出願内容の登録・確認

● 画面の指示に従って志望学群・選抜方式を選択してください。
● 出願時の個人情報（氏名や住所等）は、「MY PAGE+」で設定した内容が自動入力されます。
● インターネット出願サイトの「入試専用マイページ」から、出願履歴の確認や、以降の入試に関する手続きなどが行えます。

② 検定料の支払い

- コンビニエンスストアまたはクレジットカードで検定料の支払いをしてください。

利用できるコンビニエンスストア

セブンイレブン　ローソン
ミニストップ　ファミリーマート
デイリーヤマザキ　セイコーマート

※検定料の他に手数料が必要です。
※支払期限内に検定料の支払いがなかった場合は、登録情報は無効になります。
※領収書の提出は必要ありません。お手元で保管してください。

利用できるクレジットカード

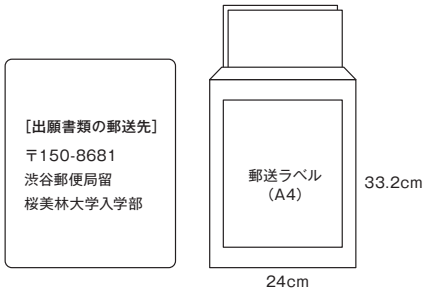
VISA　Mastercard　JCB
AMERICAN EXPRESS
Diners Club INTERNATIONAL

支払い方法でクレジットカードを選択した場合は、登録完了と同時に入金が完了となります。
※検定料の他に手数料が必要です。

- 検定料の支払い後は出願内容の変更、検定料の返還が原則できませんので、支払い前に出願内容の確認を必ず行ってください。
- コンビニエンスストアでの支払いに必要になる「お支払い番号」は、「入試専用マイページ」および出願完了時の確認メールに記載されています。

③ 書類を郵送

- インターネット出願サイトの「入試専用マイページ」から「郵送ラベル（A4）」を印刷し、任意の角2封筒（角型2号）に貼付して出願書類を出願期間内に簡易書留で郵送してください（出願締切日消印有効）。
- ② の検定料の支払いが完了しないと「郵送ラベル」は印刷できません。



インターネット上で入力しただけでは正式な出願となりません。
※登録完了後、検定料を支払い、出願書類を出願期間内に本学に郵送し、書類が受理されることで出願完了となります（出願書類の郵送は、「出願書類提出期限」の消印有効です）。余裕をもって出願してください。なお、書類に不備等があった場合は、本学から確認の連絡をいたします。

Step 3 「デジタル受験票」の発行・確認・印刷

- 出願書類を受理した後、インターネット出願サイトの「入試専用マイページ」より「デジタル受験票」を発行しますので、受験番号等を確認してください。受験票の郵送はしていません。
- 「デジタル受験票」の発行日については各選抜の「出願期間等の日程」で確認してください。
- 「デジタル受験票」は印刷し、試験日に必ず手元に用意してください（A4サイズ推奨）。

受験番号は合否照会にも必要です。印刷した「デジタル受験票」は大切に保管してください。

Step 4 試験を受験する

- 上記 Step 3 で印刷した「デジタル受験票」を必ず用意してください。

Step 5 合否を「入試専用マイページ」より確認する

- インターネット出願サイトの「入試専用マイページ」より合否を確認します。
- 合格通知の郵送は行っていません。（Web上で確認いただくことになります）

Step 6 入学手続き（入学金、授業料等の納入）を行う 合格者のみ

- インターネット出願サイトの「入試専用マイページ」から振込用紙を印刷し、所定の期日までに入学金、授業料等を納入してください。振込用紙の郵送は行っていません。
- 入学手続締切後の手続きはいかなる場合でも一切受け付けません。入学の意思がないものとみなします。

3 募集人員

本要項は各学群名を表内の〈　〉内のとおり読み替えて表記している箇所があります。

学群・専修		入学定員	選抜方式ごとの募集人員内訳	
			総合型選抜	学校推薦型選抜 ※2
リベラルアーツ学群〈LA〉		950人	263人	233人
グローバル・コミュニケーション学群〈GC〉		250人	57人	32人
ビジネスマネジメント学群〈BM〉		480人	120人	100人
航空・マネジメント学群〈航空〉		140人	49人	21人
健康福祉学群〈健福〉	社会福祉専修	300人（50人※1）	92人（15人※1）	72人（15人※1）
	精神保健福祉専修			
	健康科学専修			
	保育専修			
芸術文化学群〈芸文〉	演劇・ダンス専修	400人	171人	93人
	音楽専修			
	ビジュアル・アーツ専修			
合計		2,520人	753人	550人

※1（　）内の数字は、保育専修の入学定員・募集人員を内数として表示。
※2「学校推薦型選抜」には、「指定校制学校推薦型選抜」等も含む。

重要

リベラルアーツ学群の領域選択について

出願の際に、「人文」「社会」「自然」の3つの領域の中から希望の領域を1つ選択してください。入学後は、出願時に選択した領域の専門基礎科目を多く履修することとなります。詳細はP.25「リベラルアーツ学群の領域選択について」を確認してください。

グローバル・コミュニケーション学群グローバル・コミュニケーション学類の希望の言語について

グローバル・コミュニケーション学群グローバル・コミュニケーション学類には「英語特別専修」「中国語特別専修」「日本語特別専修」「グローバル教養専修」の4つの専修がありますが、一括募集となります。ただし、出願の際に、入学後、学修を希望する主たる言語（英語・中国語・日本語※）を選択する欄があります。なお、グローバル教養専修を希望する者についても、入学後、学修を希望する主たる言語を1つ決める必要がありますので、現時点で学修を希望する主たる言語を選択してください。この選択は選抜の合否には一切関係しません。

※入学後に学修を希望する主たる言語として母語は選択できません。母語とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

ビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学類の所属コース決定について

ビジネスマネジメント学類及びアビエーションマネジメント学類は、ビジネスマネジメント学群としての一括募集となります。アビエーションマネジメント学類「エアライン・ビジネスコース」と「エアライン・ホスピタリティコース」を希望する者は、1年次2セメスター目にコース決定のための審査があり、その結果により、所属学類と所属コースが決定します。

健康福祉学群の専修選択について

健康福祉学群は、出願の際に「社会福祉専修」「精神保健福祉専修」「健康科学専修」「保育専修」から専修を選択します。

芸術文化学群の専修選択について

芸術文化学群は、出願の際に「演劇・ダンス専修」「音楽専修」「ビジュアル・アーツ専修」から専修を選択します。
「演劇・ダンス専修」では演劇とダンスのどちらを中心に学びたいかによって入学後のスタート科目が違ってきます。原則として演劇の入試で入った方は演劇の、ダンスの入試で入った方はダンスのスタート科目になります。

航空・マネジメント学群の募集要項について

「航空・マネジメント学群」を受験する場合は、専用の学生募集要項（別冊子）が必要となりますので注意してください。

4 出願資格【全選抜共通】

次の各号のいずれかに該当する者、または2021年3月31日までに該当する見込みのある者。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧※1］又は研修施設［文部科学大臣指定研修施設一覧※2］の課程を修了する必要がある。）
   ＊「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧］又は研修施設［文部科学大臣指定研修施設一覧］の課程を修了する必要がある。）
   ＊合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
5. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程（文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧※3）を修了した者
6. 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校（我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧※4）を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧］を修了する必要がある。）
7. 高等学校と同等と認定された在外教育施設（文部科学大臣認定等在外教育施設［高等部を設置するもの］一覧※5）の課程を修了した者
8. 指定された専修学校の高等課程（文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧※6）を修了した者
9. 旧制学校等を修了した者
10. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者
11. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設（国際的な評価団体認定外国人学校について※7）の12年の課程を修了した者
    ＊CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。
12. 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者
    （なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。）
13. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者
    ＊上記13で出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査の手続が必要です。詳しくは、P.36を確認してください。

※1 文部科学大臣指定準備教育課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm
※2 文部科学大臣指定研修施設一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm
※3 文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm
※4 我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm
※5 文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/004.htm
※6 文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1234679.htm
※7 国際的な評価団体認定外国人学校について
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

上記各号の出願資格は全ての選抜方式で認められているわけではありません。
選抜方式の主旨に照らしあわせ、一部出願資格を定めていない選抜方式もあります。

（※1）■「文部科学大臣指定準備教育課程一覧」（平成28年2月18日現在）　（文部科学省ホームページより）

施設名	課程名	所在地
東京外国語大学 留学生日本語教育センター	学部留学生準備教育課程	東京都府中市
大阪外国語大学 留学生日本語教育センター	学部留学生準備教育課程	大阪府箕面市
大阪外国語大学 日本語日本文化教育センター	学部留学生準備教育課程	大阪府箕面市
大阪大学 日本語日本文化教育センター	学部留学生準備教育課程	大阪府箕面市
拓殖大学 言語文化研究所附属日本語研修センター	準備教育課程	東京都文京区
拓殖大学 日本語学校	準備教育課程	東京都文京区
京都コンピュータ学院 鴨川校 京都日本語研修センター	進学準備1年コース　進学準備1年半コース	京都府京都市
大阪YMCA学院	日本語学科1年コース　総合日本語1年コース 日本語学科1年半コース　総合日本語1年半コース 日本語学科2年コース　総合日本語2年コース	大阪府大阪市
環球日本語学習院	日本語科進学準備2年コース 進学特別課程二年コース　進学特別課程一年半コース	宮城県仙台市
セントメリー日本語学院	準備教育課程Aコース　準備教育課程Bコース	栃木県宇都宮市
学校法人三井学園 武蔵浦和日本語学院	進学準備1年課程　進学準備2年課程　進学準備課程2年コース 進学準備1年半課程　進学準備1年半課程　進学準備課程1年6か月コース	埼玉県さいたま市
大原日本語学院	準備教育課程1年コース 準備教育課程1年半コース	東京都千代田区
学校法人新井学園 赤門会日本語学校本校	大学進学のための準備教育2年コース 大学進学のための準備教育1.5年コース	東京都荒川区
カルチャー・アンド・ランゲージ・センター日本語学校	日本語学科1　日本語学科2　日本語学科3	東京都新宿区
KCP地球市民日本語学校	特別進学課程1年半コース　特別進学課程2年コース	東京都新宿区
国際学友会日本語学校	進学課程1年コース　進学課程1年半コース	東京都新宿区
日本学生支援機構 東京日本語教育センター	進学課程1年コース　進学課程1年半コース	東京都新宿区
財団法人言語文化研究所 附属東京日本語学校	進学科1年コース　進学科1年半コース　進学科2年コース	東京都渋谷区
学校法人長沼スクール 東京日本語学校	進学科1年コース　進学科1年半コース　進学科2年コース	東京都渋谷区
淑徳日本語学校	大学進学課程A　大学進学課程B	東京都板橋区
新宿日本語学校	日本語学科1　日本語学科2　日本語学科3	東京都新宿区
ジェット日本語学校	日本語進学科A　日本語進学科B	東京都北区
千駄ヶ谷日本語学校	日本語学科I部準備教育課程2年コース 日本語学科I部準備教育課程1年6ヶ月コース 日本語学科II部準備教育課程2年コース 日本語学科II部準備教育課程1年6ヶ月コース	東京都豊島区 東京都新宿区
東京工科大学附属日本語学校	大学準備教育2年コース	東京都大田区
東京国際大学付属日本語学校	準備教育課程A学科　準備教育課程4月コース 準備教育課程B学科　準備教育課程10月コース	東京都新宿区
メロス言語学院	日本語総合準備教育2年課程　日本語総合準備教育1年6ケ月課程 日本語総合準備教育1年課程	東京都豊島区
山野日本語学校	大学進学予備教育1年コース　大学進学準備教育1年コース 大学進学予備教育1年半コース　大学進学準備教育1年半コース	東京都渋谷区
国際ことば学院	大学進学コース	静岡県静岡市
国際ことば学院 日本語学校	大学進学コース	静岡県静岡市
静岡日本語教育センター	進学特別課程	静岡県静岡市
学校法人育英館関西語言学院	進学準備教育1年半コース　進学準備教育1年コース	京都府京都市
関西国際学友会 日本語学校	本科課程1年コース　本科課程1年半コース	大阪府大阪市
日本学生支援機構 大阪日本語教育センター	本科課程1年コース　進学課程1年コース 本科課程1年半コース　進学課程1年半コース	大阪府大阪市
英数学館岡山校	日本語科大学進学準備1年半コース	岡山県岡山市
九州英数学舘国際言語学院	日本語学科大学進学準備コース 日本語学科大学進学準備1.5年コース 日本語学科大学進学準備2年コース	福岡県福岡市
財団法人アジア学生文化協会 公益財団法人 アジア学生文化協会	留学生日本語コース大学進学準備1年課程 留学生日本語コース大学進学準備1.5年課程	東京都文京区
東京ギャラクシー日本語学校	準備教育課程2年コース　準備教育課程1年6カ月コース	東京都中央区
帝京マレイシア日本語学院	日本留学準備教育課程15カ月コース 日本留学準備教育課程18カ月コース 日本留学準備教育課程20カ月コース	マレーシア クアラルンプール
帝京マレーシア日本語学院	日本留学準備教育課程12カ月コース 日本留学準備教育課程18カ月コース 日本留学準備教育課程20カ月コース	マレーシア クアラルンプール

*このほか、中国赴日本国留学生予備学校（中華人民共和国吉林省）がある。

1 総合型選抜

① 総合型選抜

選抜方式			専願・併願の種別※2	該当頁
総合型選抜		一般（第1回・第2回）	専願もしくは併願	P.10
	奨学金	グローバル人材育成奨学生選抜	専願	P.12
	特別	帰国生徒（第1回・第2回）	併願	P.15
		キリスト教学校教育同盟（第1回・第2回）	併願	
		スポーツ（第1回・第2回）※1	専願	P.17
		同窓生徒（第1回・第2回）	専願	P.18
		キリスト者（第1回・第2回）	専願	P.19

※1 第3回を実施することがあります。実施の有無は2021年1月末に受験生サイト（本学Webサイト）へ掲出します。
※2 専願と併願について
①専願……桜美林大学を第1志望とし合格後、必ず本学に入学することを前提とした制度。
②併願……他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意志がないものとみなします。

重要

総合型選抜（地区会場）について

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、オンラインでの面接実施のため総合型選抜（地区会場）は、総合型選抜（第2回）に統合します。出願期間等は総合型選抜（第2回）の内容を確認してください。

2 出願期間等の日程

		一般　第1回 特別　第1回 グローバル人材育成奨学生	一般　第2回 特別　第2回
インターネット出願	出願登録	9月15日（火）～9月18日（金） 最終日は16時まで	10月27日（火）～11月4日（水） 最終日は正午（12時）まで
	検定料支払期限	9月18日（金）	11月4日（水）
		出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。出願書類提出期限は消印有効となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間を十分確認の上、提出してください。	
	出願書類提出期限	9月18日（金） 消印有効	11月4日（水） 消印有効
一次審査（書類審査）	一次デジタル受験票発行開始日	9月30日（水） 15時から順次発行	11月11日（水） 15時から順次発行
	一次合格発表日	**10月16日（金）** 合否照会は10時から可能です。	**12月4日（金）** 合否照会は10時から可能です。
		合否照会の確認は10時から可能です。二次審査（一次審査合格者のみ）の集合時間等の詳細は、二次デジタル受験票発行開始日より改めて「デジタル受験票」を発行・印刷し、確認してください。	
オンライン面接試験事前接続テスト※1（一次審査合格者参加必須）		10月18日（日）　BM/芸文　9:30～ LA/GC/健福　13:30～	12月6日（日）　BM/芸文　9:30～ LA/GC/健福　13:30～
二次審査（書類・面接・実技審査等の総合審査）	二次デジタル受験票発行開始日	10月21日（水） 15時から順次発行	12月8日（火） 15時から順次発行
	試験日	10月24日（土） オンライン面接：BM/芸文	12月12日（土） オンライン面接: BM/芸文
		10月25日（日） オンライン面接: LA/GC/健福	12月13日（日） オンライン面接: LA/GC/健福
	二次合格発表日	**11月2日（月）**	**12月18日（金）**
		合否照会の確認は10時から可能です。また、合格者のみ13時から合格通知（振込用紙）が確認できます。	
一次入学手続締切日（入学金）		11月6日（金）※2	1月6日（水） 一括納入
二次入学手続締切日（入学金以外の春学期納入金）		11月19日（木）	

※1〈オンライン面接試験事前接続テスト〉オンラインでの接続を事前に行います（一次審査合格者参加必須）。一次合格発表日の同日中に当日の詳細な集合時間やオンライン会議システム上の部屋（URL）をお知らせします。なお、合否には一切関係ありません。
※2　一次手続きを期日までに行わなかった場合、その後の入学手続きはできません。入学の意思がないものとみなします。

3 二次審査の課題図書

リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群では二次審査にて課題図書の内容理解度を問う面接を行います。二次審査受験前までに熟読しておいてください。

学　群	課題図書
リベラルアーツ学群	『なぜ科学を学ぶのか』池内了（ちくまプリマー新書／ ISBN：9784480683601）
グローバル・コミュニケーション学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『質問する、問い返す』名古谷隆彦（岩波ジュニア新書／ ISBN：9784005008544） ②『The Pearl』John Steinbeck（Penguin Books ／ ISBN：9780140177374） 面接時、課題図書の内容は、選んだ本が書かれている言語で質問をします。
ビジネスマネジメント学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『考える力と情報力が身につく 新聞の読み方』池上彰（祥伝社／ ISBN：9784396617042） ②『日本流イノベーション 日本企業の特性を生かす成功方程式』吉村慎吾（ダイヤモンド社／ ISBN：9784478084045）
健康福祉学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『命の格差は止められるか』イチロー・カワチ（小学館101新書／ ISBN：9784098251742） ②『なぜ人と人は支え合うのか』渡辺一史（ちくまプリマー新書／ ISBN：9784480683434）

*芸術文化学群の課題図書はありません。

①一般（第1回・第2回）〈専願・併願〉

検定料
35,000円

1 出願条件

P.6（4.出願資格【全選抜共通】）に該当する者。

2 専願・併願について

総合型選抜一般（第1回・第2回）については、「専願」と「併願」があります。いずれかを選択のうえ出願してください。

① **専願**… 桜美林大学を第1志望とし合格後、必ず本学に入学することを前提とした制度。

② **併願**… 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意志がないものとみなします。

3 出願期間／試験日／合格発表日／入学手続締切日

P.9（❷ **出願期間等の日程**）で確認してください。

4 選抜方法

学群		選抜方法・審査方法
一次審査	すべての学群	書類審査
二次審査	リベラルアーツ学群	1.書類審査 2.面接（15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
	ビジネスマネジメント学群	
	健康福祉学群	
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.26（4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.27（5.芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

審査過程における合否判定の方針

総合型選抜は、一次審査（書類審査）および二次審査（課題図書の内容理解度を問う口答試問を含む面接、芸術文化学群は実技審査等を含む）を行い、各審査の内容をもとに総合的な審査のうえ合否判定を行います。各審査では、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に評価します。なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、多面的に審査します。

5 出願書類について

P.29・30（1.出願書類（総合型選抜））で確認してください。

*TOEFL®、TOEIC®などの英語資格、検定試験等の資格証明書（コピー可）は、スコア・級を問わず提出書類に添付してください。

6 合格発表について

P.34（1.合否照会・合格通知（振込用紙））で確認してください。

②グローバル人材育成奨学生選抜〈専願〉

専願 桜美林大学を第1志望とし合格後、必ず本学に入学することを前提とした制度。

検定料
35,000円

1 募集人員

	リベラルアーツ学群	グローバル・コミュニケーション学群	ビジネスマネジメント学群	健康福祉学群
グローバル人材育成奨学生選抜	5人程度	5人程度	5人程度	若干名

*グローバル・コミュニケーション学群の志願者が本選抜へ出願する場合、入学後、学修する主たる言語は英語のみとなります。
*芸術文化学群、航空・マネジメント学群は本奨学金の対象外です。

2 本選抜方式の趣旨

本選抜方式は、桜美林大学の教育目標ならびに各学群が定める「養成する人材等」「アドミッションポリシー」を理解して、グローバルな社会において貢献できる人材を育成することを目的とした奨学生選抜です。グローバル人材育成奨学生として合格し、本学での学修活動によって積極的に目標実現を図りたいという意欲のある者に対して、グローバル人材育成奨学金をもって、特別に支援するものです。

3 奨学金について

1. 奨学金（減免・給付）

（1）授業料30%減免（**3.継続条件**を満たした場合、修業年限内最大で4年間減免）
（2）渡航支援費として留学出発後750,000円を給付（**2.奨学生の前提条件**（2）の留学プログラムに参加することが給付条件）

2. 奨学生の前提条件

入学後、下記の（1）・（2）の2つのプログラムを必ず履修、参加することが本奨学金制度を受ける条件となります。
また、下記の（3）～（10）の点について、必ず確認し、了解のうえ、出願してください。
（1）1セメスター※から3セメスターまで大学が指定する語学プログラムを履修すること。
（2）4セメスターと5セメスターに大学が指定する長期交換留学プログラム（英語圏）に参加すること。
（3）留学に関する所定の事前・事後学習に参加すること。
（4）芸術文化学群、航空・マネジメント学群は本奨学金制度の対象外です。
（5）グローバル人材育成奨学生として入学した場合は、リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群のグローバル・アウトリーチプログラムには参加することができません。
（6）グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学類エアライン・ホスピタリティコースに入学したグローバル人材育成奨学生は、各学群等で参加必須となっている留学プログラムではなく、前記（2）の留学プログラムに参加することになります。
（7）本学で取得できる資格（主に国家資格にあたる教育職員免許状、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、保育士など）の取得を目指す教育課程を希望する場合、標準修業年限（4年間）内に卒業できない可能性があります。
（8）グローバル人材育成奨学生の身分である期間は、原則休学は認められません。
（9）奨学生の継続条件として、語学の技能審査（スコア）を求めますが、それにかかる費用は個人負担となります。

※セメスター：本学では半年間の学期ごとに授業を完結し、単位を修得するセメスター制度（2学期制）を採用しています。1年次春学期（1セメスター）、秋学期（2セメスター）、2年次春学期（3セメスター）、秋学期（4セメスター）、3年次春学期（5セメスター）、秋学期、（6セメスター）、4年次春学期（7セメスター）、秋学期（8セメスター）となります。

3. 継続条件

セメスターごと（留学期間を除く）に継続審査を行います。グローバル人材育成奨学生の継続条件は以下の通りです。
（1）入学時からの通算GPA※が2.8以上であること。
※GPAとはGrade Point Averageの略称で成績評価を示します（最高値は4.0）。
（2）セメスターごとに大学が定めた入学時からの累計修得単位数の基準を満たすこと。
（3）所定の留学プログラム申請時（2セメスター）にTOEFL iBT® 61点またはIELTS™ 5.5以上のスコアを取得すること。
（4）3セメスター以降、大学が定めた英語スコアを取得すること（8セメスター終了時の目標スコアは、TOEFL iBT® 89点、IELTS™ 6、TOEIC® L&R 800点）。
（5）各セメスター終了時に、修学状況報告書を提出すること。

詳細は、グローバル人材育成奨学生選抜に合格後、書面にてお知らせします。

4. 他の奨学金との併給

・高等教育修学支援新制度等の学外の経済的支援制度との併給は可能です。
・年額10万円以上の学内奨学金・学内奨励金との併給は不可です。

4 出願条件

次の(1)、(2) の条件を満たす者。

(1) P.6 (**4.出願資格【全選抜共通】**) に該当する者で、かつP.12 (**❸-2.奨学生の前提条件**) の (1)・(2) のプログラムに必ず履修、参加する意志がある者。

(2) 以下のいずれかの英語資格・検定試験のスコア・級を有する者。

＊❶❷は受験期間の指定なし。❸～❾は2019年1月以降に受験したものであること。

❶実用英語技能検定 2級以上または1980点以上※1
❷ケンブリッジ英語検定 140点以上※2
❸GTEC 960点以上※3
❹TOEIC® L&R 550点以上※4
❺TOEIC® L&RおよびS&W 790点以上※4
❻TOEFL iBT® 42点以上※5
❼IELTS™ 4.0以上※6
❽TEAP 225点以上
❾TEAP CBT 420点以上

※1 「従来型」「英検CBT」「英検2020 1day S-CBT」「英検2020 2days S-Interview」を含む。
※2 受験した各試験種別［ファースト（FCE）等］の合格・不合格は問わない（スコアを有する者）。Linguaskillは不可。
※3 「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版を含む。4技能のオフィシャルスコアに限る。
※4 IP（Institutional Program ）は不可。
※5 Test Date Scoresのスコアに限る。TOEFL iBT® Special Home Editionは可。My Best™ Scores、ITP（Institutional Testing Program）は不可。
※6 IELTSは証明書に記載されている「オーバーオールバンドスコア」欄のスコア（アカデミック・モジュールに限る）。Computer delivered IELTSを含む。General Training Moduleは不可。

5 出願期間／試験日／合格発表日／入学手続締切日

P.9 (❷ **出願期間等の日程**) で確認してください。

6 選抜方法

	学群	選抜方法・審査方法
一次審査	すべての学群	書類審査
二次審査	リベラルアーツ学群	1.書類審査 2.日本語および英語による面接（20～25分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2～4人で実施します。
	ビジネスマネジメント学群	
	健康福祉学群	
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.日本語および英語による面接（20～25分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2～4人で実施します。面接方法はP.26（4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法）で確認してください。

審査過程における合否判定の方針

総合型選抜は、一次審査（書類審査）および二次審査（課題図書の内容理解度を問う口答試問を含む面接）を行い、各審査の内容をもとに総合的な審査のうえ合否判定を行います。各審査では、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に評価します。グローバル社会で活躍したいという熱意、グローバル教育を受けるにふさわしい潜在力を支援する奨学金であることから、意欲や将来性まで多面的に審査します。

なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、審査します。

7 出願書類について

P.29・30（1.出願書類（総合型選抜））で確認してください。

8 合格発表について

P.34（1.合否照会・合格通知（振込用紙））で確認してください。

9 合否判定の基準等

1）下記の基準に照らし、確かな学修意欲と資質を備え、将来の活躍に向けた計画性を有しており、グローバルな社会において貢献できる人材と判定できた者を「**グローバル人材育成奨学生**」としての合格とします。

- 英語力があり、学修意欲が明確な者と判断され、人間性においても他の学生の模範となり得ること。
- 調査書における全体の評定平均値が良好であり、外国語の他、主要教科（国語・数学・理科・地理歴史・公民）の学力が担保され、外国語で学び続けようとする意志を強く持っていること。

2）「グローバル人材育成奨学生」としての本奨学金給付の対象者にはならないが、以下の資質等が確認できた者は、**総合型選抜一般の「合格者」**とします。入学手続を行うか否かは任意です。

- 学修意欲が確認でき、かつ将来の活躍に向けた計画も明確に有しており、本学の模範学生になり得る資質が潜在的にある者、もしくは2年次以降の学修活動の成果が大いに期待できる者で、2年次以降は本奨学金以外の「奨学金」の給付対象となり得る可能性がある者。

③帰国生徒（第1回・第2回）〈併願〉 キリスト教学校教育同盟（第1回・第2回）〈併願〉

検定料
35,000円

併願 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意志がないものとみなします。

1 帰国生徒、キリスト教学校教育同盟選抜固有の出願条件

P.6（4.出願資格【全選抜共通】9、12を除く）に該当する者で、かつ以下の選抜方式ごとの出願条件のいずれかに該当する者。

〈帰国生徒〉

IまたはⅡのいずれかの条件に該当する者。

Ⅰ：以下のすべての条件に該当する者。

① 日本国籍を有する者、あるいは日本の「永住者」「定住者」の在留資格を有する者。

② 日本国籍あるいは日本の「永住者」「定住者」の在留資格取得後に、在外教育施設（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/002/001.htm）を除く外国の学校（日本の初等中等教育にあたる学校：日本における小学校～高校までの12年間の課程）において、1年度以上の学校教育を受けた者。

Ⅱ：中国引揚者の子女で以下のすべてに該当し、大学入学資格を有する者。

① 日本国籍を有する者、あるいは日本の「永住者」「定住者」の在留資格を有する者。

② 保護者（父母・祖父母）が1945年9月2日以降も引き続き中国に居住していた中国引揚げ者であること。

③ 日本の学校教育制度にあたる中学校（中等教育前期課程）以上に入学していること。

〈キリスト教学校教育同盟〉

キリスト教学校教育同盟加盟高等学校を卒業した者又は卒業見込の者。

加盟校は www.k-doumei.or.jp/ で確認してください。

2 出願期間／試験日／合格発表日／入学手続締切日

P.9（❷ 出願期間等の日程）で確認してください。

3 選抜方法

	学群	選抜方法・審査方法
一次審査	すべての学群	書類審査
二次審査	リベラルアーツ学群	1.書類審査 2.面接（15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
	ビジネスマネジメント学群	
	健康福祉学群	
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.26（4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.27（5.芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

審査過程における合否判定の方針

総合型選抜は、一次審査（書類審査）および二次審査（課題図書の内容理解度を問う口答試問を含む面接、芸術文化学群は実技審査等を含む）を行い、各審査の内容をもとに総合的な審査のうえ合否判定を行います。各審査では、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に評価します。なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、多面的に審査します。

4 出願書類について

P.29・30（**1.出願書類（総合型選抜）**）で確認してください。

＊TOEFL®、TOEIC®などの英語資格、検定試験等の資格証明書（コピー可）は、スコア・級を問わず提出書類に添付してください。

5 合格発表について

P.34（**1.合否照会・合格通知（振込用紙）**）で確認してください。

④スポーツ（第1回・第2回）〈専願〉

専願 桜美林大学を第1志望とし合格後、必ず本学に入学することを前提とした制度。

検定料
35,000円

1 スポーツ選抜固有の出願条件

P.6（4.出願資格【全選抜共通】9、13を除く）に該当する者で、かつ以下の出願条件のすべてに該当する者。

① これまでの学業の成果や文化・芸術・スポーツ・技術・技能等を含むさまざまな課外活動の成果と経験を、大学4年間の学修活動に活かしたい等の意欲と自身が志す分野で幅広く国際人として活躍したいと明確な目標を持ち、本学で学ぶことを強く希望していること。

② ア）高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）在籍中の調査書の全体評定平均値が出願時点で3.0以上あり、かつスポーツマンらしく好感が持て、入学時から本学の定めた成績の一定基準（入学時からの通算GPA※1.5以上）を卒業まで維持できる見込みのある者。
※GPAとはGrade Point Averageの略称で成績評価を示します（最高値は4.0）。
イ）当該クラブにおいて、どのように活動したいかを十分に認識しており、桜美林大学の活力向上に貢献したいと強く考えている者。

③ 各クラブにおけるセレクション等を通過していること。
なお、セレクションの日程等詳細については本学スポーツ推進センターのホームページ www.obirin.ac.jp/sports/section/ を確認してください。

2 出願期間／試験日／合格発表日／入学手続締切日

P.9（❷ 出願期間等の日程）で確認してください。

3 選抜方法

	学群	選抜方法・審査方法
一次審査	すべての学群	書類審査
二次審査	リベラルアーツ学群	1.書類審査 2.面接（15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
	ビジネスマネジメント学群	
	健康福祉学群	
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.26（4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.27（5.芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

審査過程における合否判定の方針

総合型選抜は、一次審査（書類審査）および二次審査（課題図書の内容理解度を問う口答試問を含む面接、芸術文化学群は実技審査等を含む）を行い、各審査の内容をもとに総合的な審査のうえ合否判定を行います。各審査では、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に評価します。なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、多面的に審査します。

4 出願書類について

P.29・30（1.出願書類（総合型選抜））で確認してください。

*TOEFL®、TOEIC®などの英語資格、検定試験等の資格証明書（コピー可）は、スコア・級を問わず提出書類に添付してください。

5 合格発表について

P.34（1.合否照会・合格通知（振込用紙））で確認してください。

⑤同窓生徒（第1回・第2回）〈専願〉

専願 桜美林大学を第1志望とし合格後、必ず本学に入学することを前提とした制度。

検定料
35,000円

1 同窓生徒選抜固有の出願条件

P.6（4.出願資格【全選抜共通】）に該当する者で、かつ以下の出願条件のすべてに該当する者。

① 本人及び3親等以内に桜美林幼稚園、桜美林中学校、桜美林高等学校、桜美林短期大学（短期大学部を含む）、桜美林大学、桜美林大学大学院のいずれかに、卒園者・卒業者・修了者または在学者がいる者。

② これまでの学業の成果や文化・芸術・スポーツ・技術・技能等を含むさまざまな課外活動の成果と経験を、大学4年間の学修活動に活かしたい等の意欲と自身が志す分野で幅広く国際人として活躍したいと明確な目標を持ち、本学で学ぶことを強く希望していること。

2 出願期間／試験日／合格発表日／入学手続締切日

P.9（❷ **出願期間等の日程**）で確認してください。

3 選抜方法

	学群	選抜方法・審査方法
一次審査	すべての学群	書類審査
二次審査	リベラルアーツ学群	1.書類審査 2.面接（15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
	ビジネスマネジメント学群	
	健康福祉学群	
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.26（4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.27（5.芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

審査過程における合否判定の方針

総合型選抜は、一次審査（書類審査）および二次審査（課題図書の内容理解度を問う口答試問を含む面接、芸術文化学群は実技審査等を含む）を行い、各審査の内容をもとに総合的な審査のうえ合否判定を行います。各審査では、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に評価します。なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、多面的に審査します。

4 出願書類について

P.29・30（1.出願書類（総合型選抜））で確認してください。

＊TOEFL®、TOEIC®などの英語資格、検定試験等の資格証明書（コピー可）は、スコア・級を問わず提出書類に添付してください。

5 合格発表について

P.34（1.合否照会・合格通知（振込用紙））で確認してください。

⑥キリスト者（第1回・第2回）〈専願〉

専願 桜美林大学を第1志望とし合格後、必ず本学に入学することを前提とした制度。

検定料
35,000円

1 キリスト者選抜固有の出願条件

P.6（4.出願資格【全選抜共通】）に該当する者で、かつ以下の出願条件のすべてに該当する者。

① 受洗者で、所属する教会の牧師または司祭から推薦（志願者評価書 様式3 による評価）が得られる者。
② 本学においてキリスト教関連の活動を積極的に取り組める者。
③ これまでの学業の成果や文化・芸術・スポーツ・技術・技能等を含むさまざまな課外活動の成果と経験を、大学4年間の学修活動に活かしたい等の意欲と自身が志す分野で幅広く国際人として活躍したいと明確な目標を持ち、本学で学ぶことを強く希望していること。

2 出願期間／試験日／合格発表日／入学手続締切日

P.9（❷ 出願期間等の日程）で確認してください。

3 選抜方法

	学群	選抜方法・審査方法
一次審査	すべての学群	書類審査
二次審査	リベラルアーツ学群	1.書類審査 2.面接（15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
	ビジネスマネジメント学群	
	健康福祉学群	
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.9（❸ 二次審査の課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.26（4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.27（5.芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

審査過程における合否判定の方針

総合型選抜は、一次審査（書類審査）および二次審査（課題図書の内容理解度を問う口答試問を含む面接、芸術文化学群は実技審査等を含む）を行い、各審査の内容をもとに総合的な審査のうえ合否判定を行います。各審査では、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に評価します。なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、多面的に審査します。

4 出願書類について

P.29・30（1.出願書類（総合型選抜））で確認してください。

*キリスト者選抜の志願者は、所属する教会の牧師または司祭に志願者評価書 様式3 の作成を依頼してください。

5 合格発表について

P.34（1.合否照会・合格通知（振込用紙））で確認してください。

2 公募制学校推薦型選抜

1 公募制学校推薦型選抜

選抜方式		専願・併願の種別※	該当頁
公募制学校推薦型選抜	一般（F推薦・S推薦）	専願	P.21
	一般（併願推薦）	併願	P.23

＊専願と併願について
①**専願**……桜美林大学を第1志望とし合格後、必ず本学に入学することを前提とした制度。
②**併願**……他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意志がないものとみなします。

2 出願期間等の日程

		公募制学校推薦型選抜 一般（F推薦・S推薦）/一般（併願推薦）
インターネット出願	出願登録	11月2日（月）～11月9日（月） 最終日は正午（12時）まで
	検定料支払期限	11月9日（月） 出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。出願書類提出期限は消印有効となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間を十分確認の上、提出してください。
	出願書類提出期限	11月9日（月） 消印有効
デジタル受験票発行開始日		11月20日（金） 15時から順次発行 集合時間等の詳細については、インターネット出願サイト「入試専用マイページ」で「デジタル受験票」を発行・印刷し、確認してください。
オンライン面接試験事前接続テスト※1（参加必須）		11月22日（日） BM/芸文 9:30～ LA/GC/健福 13:30～
試験日・試験会場		11月28日（土）オンライン面接: BM/芸文 11月29日（日）オンライン面接: LA/GC/健福
合格発表日		12月4日（金） 合否照会の確認は10時から可能です。また、合格者のみ13時から合格通知（振込用紙）が確認できます。
入学手続締切日（入学金＋春学期納入金）		一般（F推薦・S推薦） 12月16日（水）一括納入
		一般（併願推薦） 一次（入学金）12月16日（水）(注) 二次（入学金以外の春学期納入金）2月18日（木）

※1〈オンライン面接試験事前接続テスト〉オンラインでの接続を事前に行います。デジタル受験票発行日に当日の詳細な集合時間やオンライン会議システム上の部屋（URL）をお知らせします。なお、合否には一切関係ありません。
※2 一次手続きを期日までに行わなかった場合、その後の入学手続きはできません。入学の意思がないものとみなします。

3 課題図書

出願の際に学群指定の課題図書を読み、「読書リポート」を出願書類として提出してください。また、面接では課題図書の内容理解度を問います。

学　群	課題図書
リベラルアーツ学群	出願する領域によって課題図書が異なります。 〈人文・社会領域〉『やさしい日本語 ― 多文化共生社会へ』庵功雄（岩波新書／ ISBN：9784004316176） 〈自然領域〉『科学と非科学』中屋敷均（講談社現代新書／ ISBN：9784065150948）
グローバル・コミュニケーション学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『目の見えない人は世界をどう見ているのか』伊藤亜紗（光文社新書／ ISBN：9784334038540） ②『Animal Farm』George Orwell（Penguin Books ／ ISBN：9780141036137） 面接時、課題図書の内容は、選んだ本が書かれている言語で質問をします。
ビジネスマネジメント学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『考える力と情報力が身につく 新聞の読み方』池上彰（祥伝社／ ISBN：9784396617042） ②『日本流イノベーション 日本企業の特性を生かす成功方程式』吉村慎吾（ダイヤモンド社／ ISBN：9784478084045）
健康福祉学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『命の格差は止められるか』イチロー・カワチ（小学館101新書／ ISBN：9784098251742） ②『なぜ人と人は支え合うのか』渡辺一史（ちくまプリマー新書／ ISBN：9784480683434）

＊芸術文化学群の課題図書および読書リポートはありません。

①公募制学校推薦型選抜 一般（F推薦･S推薦）〈専願〉

検定料 35,000円

専願 **桜美林大学を第1志望とし合格後、必ず本学に入学することを前提とした制度。**

〈F推薦・S推薦について〉

公募制学校推薦型選抜は、高等学校等の学科等によりF推薦とS推薦に分かれます。どちらに該当するかを確認のうえ、出願してください。

F推薦…普通科出身者対象。

S推薦…専門教育を主とする学科、総合学科、専修学校高等課程出身者対象。

1 出願条件

P.6（**4.出願資格【全選抜共通】4、9、12、13を除く**）に該当する者で、かつ以下の出願条件のすべてに該当する者。

① 出身高等学校等の推薦基準により、学校長から推薦が得られる学業・人物ともに優秀な者。

② 日本国内の高等学校（中等教育学校後期課程を含む）等を2020年3月以降に卒業した者、または2021年3月までに卒業見込みの者。

③ 以下の出願条件を満たす者。

リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群	**全体の評定平均値が3.3以上の者。** **または全体の評定平均値が3.3未満の者であっても、以下の資格いずれか1つを有する者。** ・ 実用英語技能検定 準2級または1728点以上 ・ TOEFL iBT® 34点 ・ TOEIC® L&R 420点 ・ 国連英検 C級 ・ 日商簿記 2級 ・ 全商簿記 2級 ・ 全経簿記 2級 ・ 全商情報処理検定［ビジネス情報部門 1級］ ・ 全商情報処理［プログラミング部門 1級］ ・ 実用数学技能検定 2級 ・ 日本語検定 3級 ・ 漢字検定 2級 ・ 情報検定：J検（情報活用試験 2級） ・ パソコン利用技術検定 2級 ・ 情報処理技術者試験 （ITパスポート又は上位スキルレベルのもの、従前の試験区分における初級シスアドや基本情報技術者等を含む） ・ ICTプロフィシエンシー検定試験（P検）2級 ・ 理科検定（実用理科技能検定）2級 （リベラルアーツ学群のみ） 各資格・検定試験はオフィシャルスコアに限ります。TOEFL ITP®、TOEFL iBT® MyBest™ scores、TOEIC® IP、IELTS™（General Training Module）は対象としません。TOEFL iBT® Special Home Editionは対象とします。
グローバル・コミュニケーション学群	**外国語の評定平均値が3.5以上、かつ全体の評定平均値が3.3以上の者。** **またはいずれの評定平均値が上記の基準未満の者であっても、以下の資格いずれか1つを有する者。** ・ 実用英語技能検定 準2級または1728点以上 ・ TOEFL iBT® 38点 ・ TOEIC® L&R 430点 ・ GTEC（4技能版）700点 各資格・検定試験はオフィシャルスコアに限ります。TOEFL ITP®、TOEFL iBT® MyBest™ scores、TOEIC® IP、IELTS™（General Training Module）は対象としません。TOEFL iBT® Special Home Editionは対象とします。
芸術文化学群	全体の評定平均値が3.0以上の者

2 出願期間／試験日／合格発表日／入学手続締切日

P.20（❷ **出願期間等の日程**）で確認してください。

3 選抜方法

学群	選抜方法・審査方法
リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群	1.書類審査 2.面接（10分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（❸ 課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
健康福祉学群	1.書類審査 2.面接（15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（❸ 課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
グローバル・ コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（❸ 課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.26（4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法）で確認してください。
芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.27（5.芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

審査過程における合否判定の方針

学校推薦型選抜の主旨に照らして調査書、取得資格、推薦書等の出願書類ならびに面接の結果等から、入学志願者の能力、適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的な観点から審査します。

4 出願書類について

詳細はP.31（2.出願書類（公募制学校推薦型選抜））で確認してください。

■ リベラルアーツ学群　グローバル・コミュニケーション学群　ビジネスマネジメント学群　健康福祉学群

各学群指定の課題図書を読み、読書リポート 様式10 を提出してください。

読書リポートは、全体の内容を要約したうえで、特に印象に残った点に触れながら、自分の考えや感想を600～800字程度の範囲で論じてください。

※雑誌やインターネット等に掲載されている書評の一部または全部を書き写した場合は、評価対象となりません。

■ 芸術文化学群

活動報告書（芸術文化学群版） 様式6 を提出してください。

また、「小論文型」で出願する者は、小論文 様式7 も提出してください。

5 合格発表について

P.34（1.合否照会・合格通知（振込用紙））で確認してください。

②公募制学校推薦型選抜 一般（併願推薦）〈併願〉

検定料
35,000円

併願 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意志がないものとみなします。

1 出願条件

P.6（4.出願資格【全選抜共通】4、9、12、13を除く）に該当する者で、かつ以下の出願条件のすべてに該当する者。

① 出身高等学校等の推薦基準により、学校長から推薦が得られる学業・人物ともに優秀な者。
② 日本国内の高等学校等（中等教育学校後期課程を含む）を2020年3月以降に卒業した者、または2021年3月までに卒業見込みの者。
③ 以下の出願条件を満たす者。

リベラルアーツ学群	全体の評定平均値3.8以上の者
グローバル・コミュニケーション学群	
ビジネスマネジメント学群	
健康福祉学群	全体の評定平均値3.5以上の者
芸術文化学群	全体の評定平均値3.3以上の者

2 出願期間／試験日／合格発表日／入学手続締切日

P.20（❷ 出願期間等の日程）で確認してください。

3 選抜方法

学群	選抜方法・審査方法
リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群	1.書類審査 2.面接（10分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（❸ 課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
健康福祉学群	1.書類審査 2.面接（15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（❸ 課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（❸ 課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.26（4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法）で確認してください。
芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.27（5.芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

審査過程における合否判定の方針

学校推薦型選抜の主旨に照らして調査書、取得資格、推薦書等の出願書類ならびに面接の結果等から、入学志願者の能力、適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的な観点から審査します。

4 出願書類について

詳細はP.31（2.出願書類（公募制学校推薦型選抜））で確認してください。

■ リベラルアーツ学群　グローバル・コミュニケーション学群　ビジネスマネジメント学群　健康福祉学群

各学群指定の課題図書を読み、読書リポート 様式10 を提出してください。

読書リポートは、全体の内容を要約したうえで、特に印象に残った点に触れながら、自分の考えや感想を600～800字程度の範囲で論じてください。

※雑誌やインターネット等に掲載されている書評の一部または全部を書き写した場合は、評価対象となりません。

■ 芸術文化学群

活動報告書（芸術文化学群版） 様式6 を提出してください。

また、「小論文型」で出願する者は、小論文 様式7 も提出してください。

5 合格発表について

P.34（1.合否照会・合格通知（振込用紙））で確認してください。

3 リベラルアーツ学群の領域選択について

リベラルアーツ学群に出願する際は、希望する領域を以下の3つから1つ選択してください。

《 人文領域 》	《 社会領域 》	《 自然領域 》

入学後は、出願時に選択した領域の専門基礎科目を多く履修することとなります。
（入学時に選択した領域から最低10単位、他の2領域からそれぞれ最低4単位ずつ修得することが卒業要件となります。）

＊卒業時のメジャー（主専攻）は、入学時の領域と異なるものであっても問題ありません。
＊出願時に選択した領域によって、課題図書が異なります。なお、出願時に選択する領域によって合否判定の結果に影響が及ぶことはありません。大学入学後に学びたい領域を選ぶようにしてください。
＊インターネットでの出願完了後に志望学群、領域、選抜方式の変更は一切できません。出願時に学群、領域ならびに選抜方式に間違いがないかを必ず確認してください。

2021年4月、リベラルアーツ学群の「学び」が変わります。

2021年から、受験生は出願時に「人文」「社会」「自然」の3つの領域の中から希望の領域を1つ選択します。この狙いは、好きな領域・得意な領域で学問の基礎的な方法論を身につけ、大学での学びの足場をつくることにあります。また、同時に他の領域も学んで学際的思考を身につけることもめざします。リベラルアーツでの学びを学生の好きな領域・得意な領域から開始し、専門性を育んでいくことを目標にしています。

▶ リベラルアーツ学群のカリキュラムの概要

4 グローバル・コミュニケーション学群の面接方法

グローバル・コミュニケーション学群では、語学力を測るため、複数の言語による面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。
面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は20分です。
面接では、志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。
課題図書の内容についても、選んだ本が書かれている言語で質問をします。

○：面接で必ず使用する言語　△：面接で必要に応じて使用する言語

母語 ※	入学後、学修を希望する主たる言語	面接で使用する言語			
		日本語	英　語	中国語	備考
日本語	日本語	―	―	―	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	英　語	○	○	―	
	中国語	○	―	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
英　語	日本語	○	○	―	
	英　語	―	―	―	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	中国語	―	○	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	―	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英　語	△	○	―	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	―	―	―	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	―	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英　語	△	○	―	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。

※「母語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が母語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日・英・中のうち一つか二つの言語でも面接を行うことがあります。

5 芸術文化学群の審査方法

芸術文化学群の審査内容は、専修、審査方式によって異なります。志願者は、各専修の審査内容をよく確認し、インターネット出願時に「実技型」・「作品審査型」または、「小論文型」のいずれかを選択してください。

選抜方式	専　修	審査方式	審査内容	
総合型選抜 （第1回、第2回）二次審査 公募制学校推薦型選抜	演劇・ダンス	実技型	演劇	［オンラインでの実技と面接］ 1組10人以下のグループに分かれ、当日提示された課題に沿ってグループミーティングをし、オンラインで表現できる演劇的作品（5分程度）を作って発表します。その後、グループ単位での面接審査を行います。スマートフォンやタブレットでも参加できますが、ノートPC等、10人程度が一画面で表示されるモニターの利用を推奨します。画面には上半身が映るようにしてください。なお、実技と面接時間は約3時間を予定しています。
			ダンス	［実技動画提出とオンライン面接］ 課題動画を視聴し、その課題に沿った動画を撮影したデータを事前提出。提出した動画をもとに技術力審査。試験当日は個別面接審査（15分）を行う。
		小論文型	事前提出した小論文をもとにオンライン面接審査（15分）	
	音楽	実技型	［実技動画提出とオンライン面接］ 声楽、ミュージカル（歌）、ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器（撥弦楽器を含む）のいずれかを選び任意の一曲を演奏したものを動画収録しデータを事前提出する。ただし、大学側からの楽器の貸し出しは行いません。伴奏が必要な場合は、伴奏者または伴奏音源と共に演奏し動画収録すること。作曲等の分野で実技審査を希望する者は、自身が作曲した音楽作品（5分以内）の録音データ及びその楽譜の提出で、動画データ提出に代えることができる。試験当日はオンライン面接を課す。オンライン面接では提出動画データ等に関する設問が含まれる。面接は15分。	
		小論文型	事前提出した小論文をもとにオンライン面接審査（15分）	
	ビジュアル・アーツ	作品審査型	［作品データ提出とオンライン面接］ 自分の制作した作品一点（美術、デザイン、工芸、服飾、写真、マンガ、映像、アニメ等）および補足資料をデータにて事前提出する。試験当日の作品審査では、補足資料を用いて制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的工夫などについて3～5分のプレゼンテーションを行い、その後面接を行う。作品審査と面接合わせて15分。	
		小論文型	事前提出した小論文をもとにオンライン面接審査（15分）	

- インターネット出願完了後に、志望する専修および審査方式を変更することはできません。
- 「実技型」は志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合は事前に連絡します。
- 面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。ただし、演劇・ダンス専修の「実技型」におけるグループ面接は受験者複数、面接担当者2人で実施します。
- 音楽専修の「実技型」志願者は、インターネット出願の際に「演奏する楽器の種類」または「声楽」、「ミュージカル（歌）」を入力してください。
- 演劇・ダンス専修のスタート科目について
  演劇・ダンス専修では演劇とダンスのどちらを中心に学びたいかによって入学後のスタート科目が違ってきます。原則として演劇の入試で入った方は演劇の、ダンスの入試で入った方はダンスのスタート科目になります。

［事前提出する動画・作品の提出方法について］

提出要領については次ページで確認してください。出願登録後、出願完了メールを送信します。そのメールに動画・作品提出用URLをお知らせしますので、上記の事前提出する動画・作品提出要領に沿って、データをアップロードしてください。

※ダンス専修における実技型課題動画視聴URL　http://admissions.obirin.ac.jp/entrance_exam_guide/change-geibun-2021/movie/

重要

芸術文化学群の審査方法の変更について

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、実技型･作品審査型の審査方法が変更になっています。必ず下記内容を確認の上、準備するようにしてください。

専　修	事前提出する動画・作品提出要領	提出期間
演劇・ダンス	提出の必要はありません	提出の必要はありません
演劇・ダンス	**[事前提出動画について]** ・ 撮影時間は約1分間。 ・ 約1分間の課題動画を視聴し、その動画での説明内容に沿ってダンスを行い、動画撮影を行ってください。課題は、以下2つの要素で構成されています。 ①示された動きを理解して、できるだけ正確に踊る部分。 ②示された動きを自分なりに解釈し、工夫を加えながら踊る部分。 課題動画を視聴しながら練習し、正確な動きと共に、オリジナリティの感じられる解釈や工夫によって、伸び伸びと踊ってください。 ・ 動画撮影時、フルネームを書いた紙を胸元に持ち名前と顔がわかるように映してから、ダンスを開始してください。 ・ 撮影場所は自由です（自宅、庭、スタジオや体育館など。くれぐれも安全を確保して踊ってください。）。 ・ 全身が映るように撮影してください。 ・ カメラは1台で、1方向から据え置きで撮影してください。 ・ 撮影開始から終了までノンストップで撮影し、動画に加工や編集は行わないでください。 ・ 服装は自由ですが、ある程度身体の線がわかる方が望ましいです。	[総合型選抜第1回] 10月2日（金）～ 10月9日（金） [公募制学校推薦型選抜] 11月10日（火）～ 11月17日（火） [総合型選抜第2回] 11月20日（金）～ 11月27日（金）
演劇・ダンス	—	—
音楽	**[事前提出動画について]** ・ 演奏時間は5分以内。 ・ 志願者ははじめにカメラに向かって正面に立ち、所属校等、氏名、演奏曲目を述べた後、演奏を始めること。 ・ 演奏中は志願者の前方、斜め前方又は側方より収録し、全身が収まるようにすること。 ・ 収録開始から終了までノンストップで収録し、動画に加工や編集は行わないでください。	[総合型選抜第1回] 10月2日（金）～ 10月9日（金） [公募制学校推薦型選抜] 11月10日（火）～ 11月17日（火） [総合型選抜第2回] 11月20日（金）～ 11月27日（金）
音楽	—	—
ビジュアル・アーツ	**[事前提出作品および補足資料について]** A）物理的な作品（平面・立体）を提出する場合 ①提出作品=作品の全体像等を写真データとして事前提出。試験当日はオンライン上で作品現物を映すこと。 ②補足資料=①で提出する写真データ以外の異なる角度/こだわった細部の鮮明な写真等の写真データの事前提出（合計3点以上）。 B）映像・動画作品を提出する場合 ①提出作品=動画3分以内 ②補足資料=製作時のことを映像・画像・文章などでまとめたワークレポート［作業報告書］ C）WEBデザインを作品として提出する場合（SNS等は不可） ①提出作品=URLにて示す ②補足資料=主要ページのキャプチャ画像	[総合型選抜第1回] 10月2日（金）～ 10月9日（金） [公募制学校推薦型選抜] 11月10日（火）～ 11月17日（火） [総合型選抜第2回] 11月20日（金）～ 11月27日（金）
ビジュアル・アーツ	—	—

面接および実技型・作品審査型の観点

（1）面接の観点

① 文化、言語、音楽、演劇、造形デザイン、映像の分野に強い関心をもち、さらに大学の4年間の学修活動で高めていきたいという意欲（学力形成力）が感じられるか。

② 多様な芸術文化に触れることで、表現力や思考力等を専門的に身につけたいと考えているか。

（2）実技審査の観点

【演劇・ダンス専修】
① 初対面の人間に対して臆することなく自分なりに接することができるか。
② 与えられた課題を自分なりに表現することができるか。
③ 演劇･舞台に対して熱意をもっているか。

【音楽専修】
① 試験曲に十分な時間をかけて、丁寧に準備した形跡があるか。
② 音楽に対する意欲が感じられるか。

【ビジュアル・アーツ専修】
① 情熱を持って作品を制作しているか。
② 豊かな感性、表現力が感じられるか。
③ 基礎的な造形力が感じられるか。

▶出願手続

1 出願書類（総合型選抜）

次のページの【記入上の注意】をよく読んだうえで、出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。なお、原則として、提出された書類は返却しません。

	出願書類 ○…全員提出する書類 △…該当者のみ提出する書類	総合型選抜 一般 キリスト教学校教育同盟	グローバル人材育成奨学生選抜	帰国生徒	スポーツ	同窓生徒	キリスト者	
1	顔写真データ （インターネット出願時にアップロード）	○	○	○	○	○	○	
2	厳封 高等学校等の調査書等 （出願日から3ヶ月以内発行の原本）	○	○	○	○	○	○	
3	入学志願者調書［様式1］	○	○	○	○	○	○	
4	自己申告書［様式2-1］［様式2-2］	○	○	○	○	○	○	
5	厳封 志願者評価書［様式3］	○	○	○	―	○	○	
6	厳封 人物評価書［様式4］	―	―	―	○	―	―	
7	活動報告書［様式5］ ［様式6］〈芸文版〉	○（該当する一方）	○（該当する一方）	○（該当する一方）	○（該当する一方）	○（該当する一方）	○（該当する一方）	
8	小論文［様式7］（原本1部）	△	△	△	△	△	△	
9	キリスト教活動申告書［様式8］	―	―	―	―	―	○	
10	受洗証明書	―	―	―	―	―	○	
11	外国の学校で一年度間以上の学校教育を受けたことを証明する書類	―	―	○	―	―	―	
12	引揚証明書のコピーおよび戸籍謄（抄）本	―	―	△	―	―	―	
13	資格等の証明書（コピー /A4サイズ）	△	○	△	△	△	△	
外国籍の者（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）								
14	住民票の写し	△	△	△	△	△	△	
15	留学にかかる経費負担計画書［様式12］	△	△	△	△	△	△	

⚠ 書類に不備がある場合は受け付けません。

	【記入上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。 出願書類はすべて黒のボールペンで記入してください。鉛筆や消せるボールペン（フリクション）は使用しないでください。
1	・インターネット出願時に「顔写真データ」をアップロードしてください（正面、上半身、脱帽、背景無地）。※アップロードのみのため、提出書類に写真は必要ありません。 ・アップロードできるファイル形式は、JPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」）です。 ・写真は入学後の学生証写真として利用します。学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。
2	・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の「成績証明書」を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。 （日本語、英語表記以外のものには日本語訳を添付すること：任意様式） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 **〈重要〉** **今年度限りの措置として、3学期制の高等学校において第3学年1学期までの学習成績の状況が記載できない場合に限り、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書の提出を認めます。**
3	
4	・自分の力で考え、自筆で記入してください。 ・グローバル・コミュニケーション学群の志願者のうち「英語」での記述を希望する方のみ 様式2-2 を使用してください。「日本語」での記述を希望する方、その他の学群の志願者は 様式2-1 を使用してください。
5	・3親等以内の親族を除き、あなたの身近にいて、あなたの日常の行動内容をよく理解している方、例えば高校の担任の先生、部活を行っている場合はクラブの監督、顧問の先生、あるいはボランティア活動など課外活動を行っている場合はその活動の責任者等に記入・作成を依頼してください。 ・キリスト者に出願する場合、所属する教会の牧師または司祭に作成を依頼してください。
6	・3親等以内の親族を除き、あなたの身近にいて、あなたの日常の行動内容をよく理解している方、例えば高校の担任の先生、部活を行っている場合はクラブの監督、顧問の先生、あるいはボランティア活動など課外活動を行っている場合はその活動の責任者等に記入・作成を依頼してください。
7	**・リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群を受験する方は 様式5 を使用してください。** **・芸術文化学群を受験する方は 様式6 を使用してください。** 〈添付書類の提出について〉（様式5、6共通） ・活動報告に関する添付資料の提出は任意です。資料がある場合は活動報告書に資料番号を記し、提出資料にもその番号を記入してください。提出された資料は返却できませんので、重要な資料はコピーを提出してください。また、CD、DVD等を提出する場合は、総時間を15分以内にまとめてください。
8	・芸術文化学群の受験者のうち、「**小論文型**」で出願する方のみ提出してください。
9	・自筆で記入してください。
10	・所属する教会の牧師または司祭に発行を依頼してください。証明者の署名捺印が必要です。
11	・様式は任意としますが、日本語、英語表記以外のものには日本語訳を添付してください。
12	・「引揚証明書」は保護者の方が帰国した際に国から発行されている証明書です。引揚者の方と本人との関係を証明するため「戸籍謄（抄）本」もあわせて提出してください。
13	・グローバル人材育成奨学生選抜の志願者は、出願条件の英語資格またはスコアを必ず提出してください。 ・グローバル・コミュニケーション学群を受験する方で、第1言語（または母語）以外の語学力（英語・中国語・日本語）を証明する資格がある方は提出を推奨します。

14	・外国籍で日本の在留資格が「永住者」「定住者」以外の方は提出してください。日本に住所を持たない方は提出の必要はありません。 ・市・区役所等が発行する「住民票の写し」を提出してください（在留資格が記載されているもの）。 在留カードではありません。 ⚠**〈注意〉コピー不可、必ず原本を提出してください。**
15	・外国籍で日本の在留資格が「永住者」「定住者」以外の方は提出してください。 ・該当する経費支弁方法を選択し、必要事項を記入のうえ、提出してください。

2 出願書類（公募制学校推薦型選抜）

出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。なお、原則として、提出された書類は返却しません。
⚠ **書類に不備がある場合は受け付けません。**

	出願書類 ○…全員提出する書類 △…該当者のみ提出する書類	公募制学校推薦型選抜 一般（F推薦・S推薦） 一般（併願推薦）	【記入上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。 出願書類はすべて黒のボールペンで記入してください。 鉛筆や消せるボールペン（フリクション）は使用しないでください。
1	顔写真データ （インターネット出願時にアップロード）	○	・インターネット出願時に「顔写真データ」をアップロードしてください（正面、上半身、脱帽、背景無地）。※アップロードのみのため、提出書類に写真は必要ありません。 ・アップロードできるファイル形式は、JPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」）です。 ・写真は入学後の学生証写真として利用します。学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。
2	厳封 高等学校等の調査書等 （出願日から3ヶ月以内発行の原本）	○	・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の「成績証明書」を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。 （日本語、英語表記以外のものには日本語訳を添付すること：任意様式） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 **〈重要〉** **今年度限りの措置として、3学期制の高等学校において第3学年1学期までの学習成績の状況が記載できない場合に限り、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書の提出を認めます。**
3	活動報告書［様式6］〈芸文版〉	△	**芸術文化学群を受験する方のみ提出してください。** <添付書類の提出について> ・活動報告に関する添付資料の提出は任意です。資料がある場合は活動報告書に資料番号を記し、提出資料にもその番号を記入してください。提出された資料は返却できませんので、重要な資料はコピーを提出してください。また、CD、DVD等を提出する場合は、総時間を15分以内にまとめてください。
4	小論文［様式7］（原本1部）	△	・**芸術文化学群の受験者のうち、「小論文型」で出願する方のみ提出してください。**
5	厳封 推薦書［様式9］	○	・担任の先生に作成を依頼してください。
6	読書リポート［様式10］ 〈LA、GC、BM、健福〉	△	・**リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群を受験する方は提出してください。**
7	志望理由書［様式11］	○	
8	資格等の証明書 （コピー／A4サイズ）	△	・評定平均値が出願条件を満たさず、指定の資格で出願する者は必ず提出してください。グローバル・コミュニケーション学群の志願者は、評定平均値が出願条件を満たしていても、「募集要項」の出願条件に記されている試験において基準以上の得点を有する場合は、合格証のコピーを提出することを推奨します。中国語の場合はHSK、中国語検定、日本語の場合は日本語能力試験（得点の記載のある証明書）の受験結果がある場合は提出を推奨します。
外国籍の者（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）			
9	住民票の写し	△	・外国籍で日本の在留資格が「永住者」「定住者」以外の方は提出してください。日本に住所を持たない方は提出の必要はありません。 ・市・区役所等が発行する「住民票の写し」を提出してください（在留資格が記載されているもの）。 在留カードではありません。 ⚠ **〈注意〉コピー不可、必ず原本を提出してください。**
10	留学にかかる経費負担計画書 ［様式12］	△	・外国籍で日本の在留資格が「永住者」「定住者」以外の方は提出してください。 ・該当する経費支弁方法を選択し、必要事項を記入のうえ、提出してください。

3 出願上の注意

1. 一度郵送された書類および納入された入学検定料は、原則として返還しません。ただし、以下のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返金にかかる手数料を差し引いた金額を返還します。選抜ごとに定められた期限までに手続きを行う必要があります。
   ①入学検定料を支払ったが、出願期間内に出願書類を郵送しなかった
   ②入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が完了しなかった
2. インターネットでの出願登録後に**志望学群、領域（リベラルアーツ学群）、専修（健康福祉学群・芸術文化学群）、コース、選抜方式の変更はできません。**出願時に学群、領域、専修、コースならびに選抜方式に間違いがないかを必ず確認してください。

4 検定料

検定料　各 35,000 円

検定料は以下の2つの支払い方法があります。インターネットで出願をする際に選択してください。なお、検定料のほかに事務手数料が別途かかります。
1. 指定のコンビニエンスストアでの支払い
2. クレジットカードを利用しての支払い
   ※一度納入された検定料は返金できません。

5 デジタル受験票

1. インターネット出願サイトの「入試専用マイページ」で「デジタル受験票」を指定日より順次発行します。
2. 「デジタル受験票」は印刷ボタンより印刷し、試験当日に提示できるように、準備しておいてください（A4サイズ推奨）。
   また、集合時間等の詳細はデジタル受験票で確認してください。

6 オンライン面接における注意事項

1. 事前の接続テストと同じ環境で受験してください。(同じ部屋・パソコン等環境の確保)
2. 受験する本人の環境不備により、試験に不具合が生じた場合は、試験が認められない可能性があります。十分な準備をした上で、受験してください。
3. 試験中は、バーチャル(仮想)背景は使用しないでください。
4. 不正防止の為、試験中の様子は録画しますので、予めご了承ください。
5. 受験する環境(部屋)に、受験する本人以外の者が在室しないようにしてください。
6. 試験途中での入退室は出来ません。
7. 試験中、面接者が指示する以外のパソコン操作(インターネット検索等)は行わないでください。
8. 試験に利用するパソコン(スマートフォン)および筆記用具以外の不正行為につながる恐れのあるもの(電子機器等)は持ち込まないでください。
9. 試験内容の記録(録画や録音、メモ等)は行わないでください。
10. その他、不正行為に該当するような行為は行わないでください。

※試験当日、または後日、上記に違反するような事案が判明した場合(SNS等での発信を含む)には、合格した場合であっても不合格となる可能性があります。
※その他、オンライン面接に伴う事前準備事項および試験当日の諸注意事項については8月下旬頃公開するマニュアルを別途確認してください。

7 受験時および修学時に特別な配慮や支援が必要な方

受験時および修学時に特別な配慮・支援を要する志願者は、事前に相談してください。事前相談を希望される方は、受験生サイト(本学Webサイト)より申請書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し下記提出期限までに桜美林大学入学部へメールまたは郵送するようにしてください。
書類を確認次第、大学より事前相談の日程等に関する連絡を差し上げます。

■ 提出期限

総合型選抜第1回 [一般、特別、グローバル人材育成奨学生]	総合型選抜第2回 [一般、特別]	公募制学校推薦型選抜
8月20日(木)消印有効	9月25日(金)消印有効	9月25日(金)消印有効

事前相談が無い場合、出願をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。

■ 提出先

メール:info-ctr@obirin.ac.jp
郵送:〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学 入学部
ご質問、ご不明点がありましたら入学部インフォメーションセンター(TEL:042-797-1583)まで連絡してください。

1. 合否照会・合格通知（振込用紙）

1. インターネット出願サイトの「入試専用マイページ」にログインし、「合否照会」ボタンをクリックしてください。
   合否結果が表示されます。
2. 合否については、上記の合否照会方法で確認してください。合否の理由等も含め電話やメールでのお問い合わせには、一切お答えできません。
3. 合否照会は合格発表日の10時から確認ができます。
4. 合格者のみ、合格発表日の13時より「合格通知（振込用紙）」が印刷可能になります。
   インターネット出願サイトの「入試専用マイページ」にログインして印刷し、入学手続き（学納金の納入）をしてください。
   合格通知（振込用紙）の郵送はありませんので、注意してください。

2. 入学手続等（学納金の納入について）

1. 「合格通知」とともに学納金の振込用紙をインターネット出願サイトの「入試専用マイページ」より印刷してください。合格発表日の13時より「合格通知（振込用紙）」が印刷可能になります。納入期限までに入学金と春学期分の授業料等を、銀行振込にて納入してください。
   合格通知（振込用紙）の郵送はありませんので、注意してください。
   ゆうちょ銀行、機械（ATM、インターネットバンキング等）による振り込みは、受験番号の入力漏れ等により本人確認ができないことがあるため、遠慮いただいています。やむを得ず利用される場合は、「受験番号」と「受験生氏名」を振込依頼人欄に必ず入力してください。
   また、本学窓口でも取り扱いできません。
2. 期限内に前項の納入金が無い場合は、入学の意志がないものとみなします。また、期限後の振り込みはいかなる理由でも一切受け付けません。
3. 入金確認後、「入学許可証」等が「入試専用マイページ」に掲出されます。
4. 入学までに卒業証明書を提出してください。ただし既卒者で卒業が成績証明書により確認できる場合の提出は不要です。

■ 入学辞退について

学納金の納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、「入試専用マイページ」より所定の手続きを行うことで、受理された者に入学金および返金にかかる手数料を差し引いた納入金を返金します。いかなる理由でも入学金の返金はできません。
対象の方には、入学手続締切日以降に、「入試専用マイページ」に「入学辞退」ボタンが表示されます。（入学手続き締切日から1週間程度かかることがあります）
入学辞退申請をする方は、「入試専用マイページ」の掲載文をよく読み、以下の入学辞退申請期限までに手続を完了してください。それ以降の申し出については、一切返還しません。

［入学辞退申請期限］
2021年3月31日（水）15:00までに「入試専用マイページ」にて手続きを完了してください。詳しい操作方法などは受験生サイトを確認してください。
※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても入学辞退の受領および学納金の返還はできません。
※入学辞退の申請を完了した場合、いかなる理由においても入学辞退の申請を撤回することはできません。

3. 学納金

2021年度入学者（一年次）学納金一覧

■ リベラルアーツ学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	457,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,364,000円
2年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
3年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
4年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	50,000円	682,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,314,000円

■ グローバル・コミュニケーション学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	457,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,364,000円
2年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
3年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
4年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	50,000円	682,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,314,000円

※グローバル・コミュニケーション学群は別途留学費用（渡航費・生活費・海外旅行保険費用等）がかかります。

■ ビジネスマネジメント学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	457,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,364,000円
2年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
3年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
4年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	50,000円	682,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,314,000円

※アビエーションマネジメント学類エアライン・ホスピタリティコースは別途留学費用がかかります。
※ビジネスマネジメント学類・アビエーションマネジメント学類の「実習・演習科目」については別途費用がかかる場合があります。

■ 健康福祉学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	517,000円	25,000円	—	792,000円	150,000円	517,000円	25,000円	692,000円	1,484,000円
2年次	—	150,000円	517,000円	25,000円	—	692,000円	150,000円	517,000円	25,000円	692,000円	1,384,000円
3年次	—	150,000円	517,000円	25,000円	—	692,000円	150,000円	517,000円	25,000円	692,000円	1,384,000円
4年次	—	150,000円	517,000円	25,000円	50,000円	742,000円	150,000円	517,000円	25,000円	692,000円	1,434,000円

■ 芸術文化学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	557,000円	25,000円	—	832,000円	150,000円	557,000円	25,000円	732,000円	1,564,000円
2年次	—	150,000円	557,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	557,000円	25,000円	732,000円	1,464,000円
3年次	—	150,000円	557,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	557,000円	25,000円	732,000円	1,464,000円
4年次	—	150,000円	557,000円	25,000円	50,000円	782,000円	150,000円	557,000円	25,000円	732,000円	1,514,000円

■ 航空・マネジメント学群

航空・マネジメント学群の学納金については、専用の学生募集要項（別冊子）をご確認ください。

【全学群共通】
※教職課程を履修する方は学納金のほかに別途費用が必要となります。そのほか、資格の取得に別途費用が必要となる場合があります。
※履修する科目によっては別途教材費等が必要となります。

「個別の入学資格審査」について

本学では、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを判断する「個別の入学資格審査」を出願前に行います。
※P.6（4.出願資格【全選抜共通】）13での出願を希望する者のみ。高等学校卒業（見込み）者等その他の資格で出願する方の「個別の入学資格審査」は不要です。

1 個別の資格審査の対象となる者

以下の1.～3.のいずれかに該当する者

1.「個別の入学資格審査」の対象となる者は、我が国において高等学校相当として指定した外国人学校のうち、修業年限が12年の外国人学校を卒業した者、または卒業見込みの者。
2. 1.に該当しない者であって、専修学校、各種学校等における学習歴及び社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者で、2021年3月31日までに18歳に達している者。
3. 旧制諸学校の卒業者等に準ずる者。

2 個別の入学資格審査の内容

申請者の学習歴、実務経験及び取得している資格等を、申請された書類を基に総合的に審査し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められるかについての判定を行います。具体的には以下の事項が審査対象の内容です。

- 専修学校、各種学校等の課程の修了などの学習歴
- 社会における実務経験や取得した資格等
- 大学の科目等履修生として修得した一定の単位
- その他、旧制諸学校で修了した課程の内容

3 提出書類

1. 桜美林大学個別の入学資格審査申請書 様式13
2. 教育施設長発行の調査書または成績証明書 厳封
3. 教育施設の概要（教育施設の概要が明記されているもの）
4. 教育施設の規則（教科目、授業時間数及び卒業要件の明記されているもの）
5. 教育施設の出身者進路概要（大学等進学者及び就職者の人数が把握できるもの）

※3.教育施設の概要に規則や進路概要の事項が記載されている場合は、4.及び5.の提出は不要です。
※封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と朱書し、書留郵便にて入学部インフォメーションセンターに提出してください。

4 提出期限

	総合型選抜 第1回［一般、特別、グローバル人材育成奨学生］	総合型選抜 第2回［一般、特別］
提出期限	2020年8月20日（木）消印有効	2020年9月23日（水）消印有効

※「個別の入学資格審査」の結果は、申請書類受領後2、3週間程度で申請者本人宛に文書で通知します。

「個別の入学資格審査」は入学者選抜試験を免除するものではなく、出願資格の有無を判定するものです。
判定の結果「出願資格有」と認定された場合は、定められた出願期間内に所定の出願手続きをし、入学者選抜試験を受ける必要があります。
なお、「個別の入学資格審査」の結果は、本学の該当する入学者選抜にのみ効力が及ぶものです。

〈お問い合わせ・書類提出先〉
〒194-0294　東京都町田市常盤町3758
入学部インフォメーションセンター
TEL：042-797-1583

▶その他

1. 奨学金制度

本学には、学生の経済的基盤を整え、学業継続の機会を保障するために、以下のような奨学金制度があります。制度の詳細は受験生サイトで確認してください。（奨学生の推薦、選考は学力および家計状況等を基に行います）

1. 入学前に出願する奨学金

●グローバル人材育成奨学金〈総合型選抜 一般選抜〉　募集人数30人／減免・給付

グローバルな社会に貢献できる人材を育成することを目的とした新たな奨学金制度です。制度を利用し、入学後、本学が指定する語学プログラムや4セメスターからの1年間留学へ参加し、卒業時にTOEIC® L&R 800点獲得を目指します。各学期の授業料を30%減免（最大4年間）に加え、留学時の渡航支援費（渡航時1回限り）として75万円を給付します。減免や給付となる資格は、学期ごとに継続可否の審査があります。他の学内給付型奨学金との併給はできません。

●学而事人奨学金〈一般選抜〉　募集人数30人／減免

経済的理由で進学をあきらめざるを得ない者に対して、進学の支援を行う奨学金制度です。各学期の授業料を20%減免することで、入学から卒業までの最大4年間を支援します。減免継続となる資格は、学期ごとに継続可否の審査があります。他の給付型奨学金との併給はできません。

2. 入学後に申込可能な奨学金

●学業優秀者奨学金　募集人数54人（2 ～ 4年次生）／給付

学士課程2 ～ 4年次生が対象で、在学中の学業成績が特に優秀な学生に対して、各学年18人、1人につき10万円を給付します。他の学内給付型奨学金との併給はできません。

●独立行政法人日本学生支援機構奨学金／貸与

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学に困難な学生を対象とした、学生本人名義の貸与型奨学金です。

●民間育英団体奨学金

民間育英団体が実施している奨学金制度です。募集は大学を通じて行うものと民間団体が直接行うものがあります。

●文部科学省外国人留学生学習奨励費

留学ビザの学生を対象に文部科学省が実施する奨学金制度です。月額48,000円で、受給期間は1年間です。

3. 提携教育ローン制度

●桜美林大学提携教育ローン

① 三井住友銀行提携教育ローン　三井住友銀行提携の一般の教育ローンより有利な条件を設定した融資制度です。
② オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」　株式会社オリエントコーポレーション提携の入学金・学納金・寮費等を立替払いとする融資制度です。
③ ジャックスの教育ローン　株式会社ジャックス提携の入学金・学納金等を立替払いとする融資制度です。

4. 高等教育修学支援新制度（本学は同制度の対象校として認定を受けています）

進学意欲がありながらも、経済的理由で進学が困難な学生へ、給付奨学金と授業料減免の支援が受けられる制度です。制度を利用するためには、まず日本学生支援機構給付奨学金の奨学生として採用される必要があります。
なお、高等教育修学支援新制度の採用候補者であっても各入学者選抜における入学手続きに伴う学納金は、入学手続締切日までに全額納付してください。入学後、所定の手続きを完了し、採用決定者であることが確認できた者に対し、減免金額を還付いたします。

■ 奨学金制度等についての問い合わせ先

● 町田キャンパス事務室学生支援担当（TEL：042-797-3128　Email：shogaku@obirin.ac.jp　平日／9：00 ～ 17：00）

2. 学生寮

入寮を希望される方は、国際寮に問い合わせてください。
（TEL：042-750-5564　平日/9：00 ～ 17：00）

寮　名		国際寮		第二国際寮
		Aタイプ（個室）	Cタイプ（二人部屋）	A棟（全室個室）
収容定員		245人		84人
在寮可能期間		最短1学期間／最長2年間		
寮費	春学期（4月～ 7月）	220,000円	140,000円	220,000円
	秋学期（9月～ 1月）	275,000円	175,000円	275,000円
	入寮費（入寮時のみ）	120,000円	60,000円	120,000円
	退去時清掃費用（入寮時のみ）	20,000円	10,000円	20,000円
	管理費等	月額 10,000円	月額 5,000円	月額 10,000円
連絡先		042-750-5564（平日 9：00 ～ 17：00）		042-730-5015（平日 9：00 ～ 17：00）
所在地		神奈川県相模原市中央区淵野辺 3-5-41		神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-10-22
ホームページ		http://www.obirindorm.ne.jp/fih/		http://www.obirindorm.ne.jp/fih2/
アクセス		JR横浜線淵野辺駅北口まで徒歩約4分 町田キャンパスへスクールバス約8分		JR横浜線淵野辺駅南口まで徒歩約3分 町田キャンパスへスクールバス約8分

（2020年4月現在）

3. 住まい紹介

本学の新入生、在学生の住まい（下宿、アパート）に関する紹介は、株式会社ナルドと桜美林学園消費生活協同組合が行っています。

■ 株式会社ナルド
〒194-0213　東京都町田市常盤町3654
（月～金／9：00 ～ 18：00）
TEL：042-797-9944　　FAX：042-797-2046
URL：www.narudo.co.jp

■ 桜美林学園消費生活協同組合（免許証番号 東京都知事（2）第80794号）
〒194-0294　東京都町田市常盤町3758（学而館隣）
TEL：042-797-7600（住まい関係専用電話、月～金／10：00 ～ 17：00）
TEL：042-797-0543（生協代表電話）　FAX：042-797-2652
URL：www.univcoop.jp/obirin/　E-mail：coop.ml@obirin-coop.or.jp

4. 入学後の学生生活について

本学では、健康増進法や喫煙防止教育の推進等、各省庁や社会からの要望を受け、大学の学生並びに教職員の健康を増進するため、学内を全面禁酒、禁煙としています。
入学後の学生生活については、以下「学則」および「学生生活ガイド」の内容を必ず確認してください。なお、学則や学生生活上のルールは変更することがありますので、入学後改めて確認してください。

■ 学則
www.obirin.ac.jp/campus_life/rules.html

■ 学生生活ガイド
www.obirin.ac.jp/campus_life/student_life_guide.html

5. 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。これらの業務の一部を、本学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、同業者に対して、提出していただいた個人情報を提供することがあります。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、本学における入学者選抜および教育改善のための調査に利用します。

6. 入学前教育

総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続完了者に対し、入学前教育を実施する予定です。
詳細については、入学手続完了後に別途連絡いたします。

7. JAPAN e-Portfolioの利用について

JAPAN e-Portfolioシステムの利用については未定のため、詳細が確定し次第、本学受験生サイトへ掲出いたします。

詳しくは受験生サイトの訂正内容を確認してください。

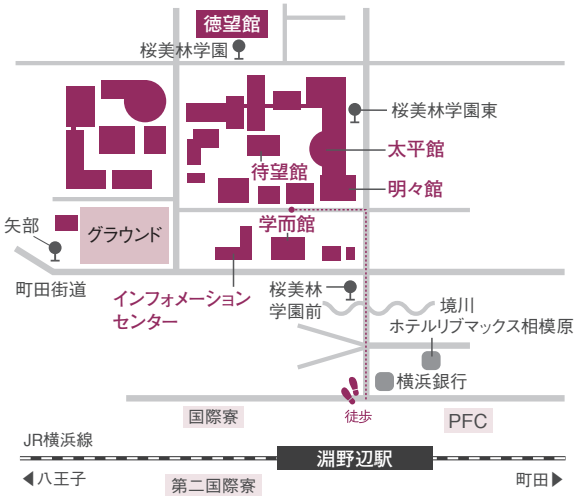
キャンパスについて

■ キャンパス一覧

学群	試験会場	学ぶキャンパス
リベラルアーツ学群	面接・実技試験はオンライン会議システム（Zoom）を利用して実施します。受験者は自宅等から「面接・実技」試験を受験することとなります。	町田キャンパス
グローバル・コミュニケーション学群		町田キャンパス ~~1・2年次はPFC（プラネット淵野辺キャンパス）がメインキャンパスになります~~
ビジネスマネジメント学群		新宿キャンパス
健康福祉学群		町田キャンパス
芸術文化学群		東京ひなたやまキャンパス

■町田キャンパス

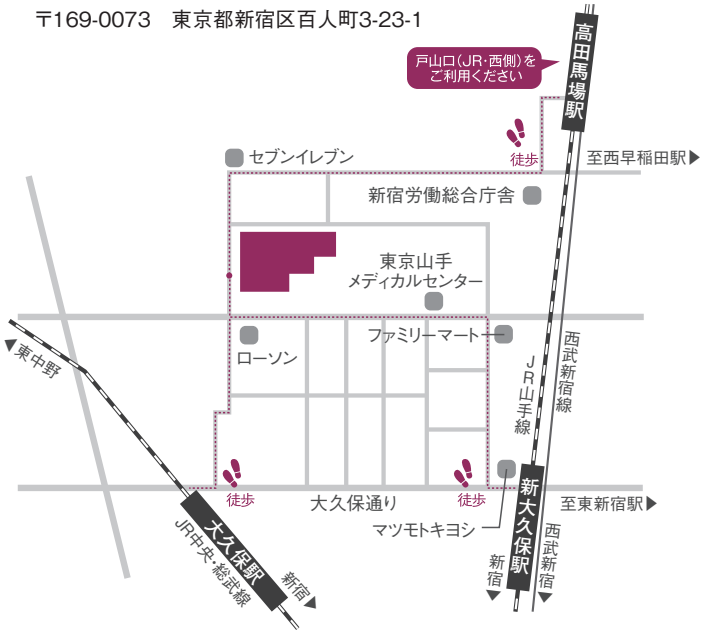
〒194-0294　東京都町田市常盤町3758



[スクールバス]
JR横浜線「淵野辺駅」北口よりスクールバスにて約8分。
[路線バス（有料）]
JR横浜線「淵野辺駅」北口より神奈中バスにて「町田バスセンター行」または「小山田桜台行」で約8分、「桜美林学園前」下車。
[徒歩]
JR横浜線「淵野辺駅」北口より徒歩約25分。

■新宿キャンパス

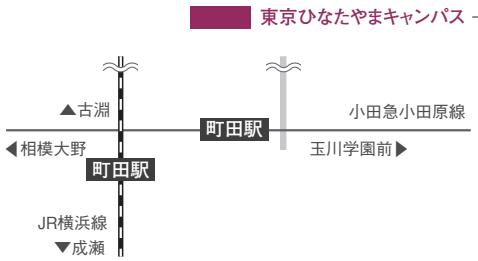
〒169-0073　東京都新宿区百人町3-23-1



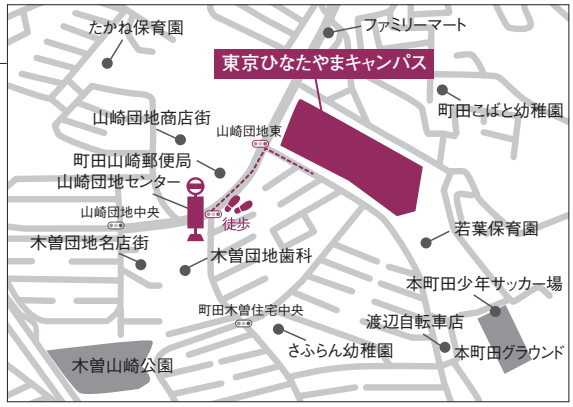
[徒歩]
JR中央・総武線「大久保駅」北口改札口より約6分。
JR山手線「新大久保駅」改札口より約8分。
JR山手線、東京メトロ東西線、西武新宿線「高田馬場駅」より約13分。

■東京ひなたやまキャンパス

〒194-0032　東京都町田市本町田2600-4



近隣図



[路線バス（有料）と徒歩]
JR横浜線、小田急小田原線「町田駅」バス乗り場より神奈中バスにて「山崎団地行」または「山崎団地センター行」で約20分、「山崎団地センター」下車。
「山崎団地センター」バス停より徒歩約3分。

《出願様式（総合型・公募制学校推薦型）》

【出願にあたっての留意点】

1. 次ページ以降の様式をA4サイズの片面で印刷し、
一部を提出してください。
2. 入学志願者調書［様式 1］の「領域、学類、専修」「言語」欄の記入・選択については、以下の内容を必ず確認してください。
3. 黒のボールペンで記入してください。
鉛筆や消せるボールペン（フリクション）は使用しないでください。

■リベラルアーツ学群

希望する領域を必ず1つ記入してください。

●人文　●社会　●自然

■グローバル・コミュニケーション学群

入学後、学修を希望する主たる言語を必ず1つ選択してください。

●英語　●中国語　●日本語

※入学後に学修を希望する主たる言語として母語は選択できません。母語とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

■ビジネスマネジメント学群

希望する学類が決まっている場合は記入してください（任意記入）。

●ビジネスマネジメント学類

●アビエーションマネジメント学類

■健康福祉学群

希望する専修を必ず1つ記入してください。

●社会福祉　●精神保健福祉　●健康科学　●保育

■芸術文化学群

希望する専修を必ず1つ記入してください。

●演劇・ダンス　●音楽　●ビジュアル・アーツ

［様式1］　総合型

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志　望　学　群　名	領域 学類、専修
学群	

※出願様式 表紙の【出願にあたっての留意点】を必ず確認してください。

母語※を記入してください

※教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

グローバル・コミュニケーション学群の志願者のみ記入してください 入学後、学修を希望する主たる言語を一つ○で囲んでください。
英　語　　中国語　　日本語

入学志願者調書

氏	名
フリガナ	
漢　　字	

学歴：高等学校等の在学期間を記入してください。（所在地：国内は都道府県、海外は国・州）

高等学校等の名称	所　在　地	入学（西暦）	卒業・修了（見込み）	在 学 年 数
		年　　月	年　　月	
		年　　月	年　　月	
		年　　月	年　　月	

高校卒業後の経歴：学歴（大学、予備校、日本語学校、各種専門学校等を含む）・職歴を記入してください。

学校名または勤務先	所　在　地	在 学 ・ 在 職 期 間（西暦）	在学・在職期間
		年　　月～　　年　　月	年　　か月
		年　　月～　　年　　月	年　　か月
		年　　月～　　年　　月	年　　か月
		年　　月～　　年　　月	年　　か月
		年　　月～　　年　　月	年　　か月

日本国外の滞在・居住歴：期間・目的（観光旅行は除く）に関わらず記入してください。

滞在・居住先国名	帯同者	期　　間　（西暦）			目的（留学の場合は派遣団体名）
	有・無	年　　月～	年　　月	年　　か月	
	有・無	年　　月～	年　　月	年　　か月	
	有・無	年　　月～	年　　月	年　　か月	
	有・無	年　　月～	年　　月	年　　か月	
	有・無	年　　月～	年　　月	年　　か月	

大学の授業参加歴（高大連携・科目等履修生等。オープンキャンパス等の授業は含まない）

大　学　名	科目／講座名	期　間（西暦）	単位／時間数
		年　　月～　　年　　月	
		年　　月～　　年　　月	

最も興味深く読んだ本を順に３冊挙げなさい。

書　　名	著　者　名

最近読んだ本を近い順に３冊挙げなさい。

書　　名	著　者　名

外国の高校出身者は**日本語の学習歴**（高等学校等の課程や独習を含む）を記入してください。

学　校　名	学 習 の 期 間（西暦）
	年　　月～　　年　　月
	年　　月～　　年　　月

学　校　名	学 習 の 期 間（西暦）
	年　　月～　　年　　月
	年　　月～　　年　　月

外国の高校出身者は受験したすべての**統一試験名**を記入してください。

試　験　名	受験時期（西暦）	受　験　地	科目別試験の場合は受験した科目名
	年　　月		
	年　　月		
	年　　月		

クリスチャンの場合は記入してください。

年（　　歳）頃より　　年（　　歳）　　教会

主な活動として挙げられるものがあれば記入してください。

３親等以内に桜美林学園卒業者または在学者がいる場合は記入してください。

受験者との関係			
氏　　名		フリガナ	
卒 業 年 度		学 科 等	

日本国内に在住の方で必ず連絡がとれる方（保護者など）の連絡先等を記入してください。

氏　　名　　本人との関係

住　　所 〒

TEL（　　）　　－

携帯（　　）　　－

海外から出願する場合は**日本国内の緊急連絡先・通知送付先**を記入してください。

氏　　名　　本人との関係

住　　所 〒

TEL（　　）　　－

［様式2-1］ 総合型

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志 願 者 氏 名

自己申告書

あなたが自筆で記入してください。本学の学群を志望するにあたって、これまであなたの特筆すべき業績・特徴・体験などについて、どの点が優れているのか、あるいはユニークなのか、どのようなことに苦労したのかなど、1,200字～1,600字程度（日本語）で極力具体的かつ客観的に申告してください。その際、今まであなたが学んできたこと、身につけてきたこと、体験してきたことを志望する学群での学習や課外活動にどのように活かそうとしているのか、あなたの抱負も盛り込みながら、具体的に説明してください。この申告書を書くにあたって、参考にした図書、文献などがありましたら、文末にリストアップしてください。

グローバル・コミュニケーション学群の志願者は「英語」で書いても構いません。その場合は、［様式2-2］を使用してください。

（横書き→）

1200

［様式2-2］ グローバル・コミュニケーション学群の志願者で、「英語」での記述を希望する方はこの様式を使用してください。

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志　願　者　氏　名

自己申告書

Write by hand, by yourself. For applying to the college of Global Communication, appeal your work, specialty and experiences concrete and objectively (in English, 600~800 words). Besides, explain how excellent, unique or difficult what you've done. At that time, write your ambition, and describe what you've learn or what you've experienced, and how to make use of them to the study of the college of Global Communication or extracurricular activities. If you have used any books in order to write this document, list them below, the end of this paper.

You are able to submit this document either Japanese or English. If you write in English, you don't have to submit the document titled [様式2-1].

[様式3] 総合型（スポーツを除く）

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

注意：あなたの身近にいて、あなたの日常の行動内容をよく理解している方に作成を依頼してください。例えば高校の担任の先生、部活を行っている場合はクラブの監督、顧問の先生、或いはボランティア活動など課外活動を行っている場合はその活動の責任者などに作成を依頼してください。ただし、3親等以内の親族は除きます。

本書を作成される方へ

① 志願者を客観的に評価していただける方に作成をお願いするものです。
② 1. 及び 3. についてはワープロ等で印刷したものを貼付されても差し支えありませんが、はがれないようにしっかりと糊付けしてください。
③ 署名欄に限っては、必ず直筆でお願いします。
④ 厳封のうえ、志願者にお渡しください。

1) The person who gave you this form is applying to J. F. Oberlin University. We would appreciate your candid evaluation of the applicant.
2) Please fill out the form in pen or print your comments and attach the printout securely to the form.
3) Please fill out the “Evaluator’s name” line in pen only.
4) After completing the form, please seal it in an envelope, sign your name across the seal, and return it to the applicant.

【志願者評価書】 厳封扱い

Applicant Evaluation Form

志願者氏名
Applicant’s Name _____

1．どのような立場で、どのくらいの期間、志願者を知っていますか。
How long have you known the applicant and in what capacity?

_____

_____

2．志願者の能力・人物について、下記の項目ごとに評価として、該当する欄に「✓」を記入してください。
Please rate the applicant in the following categories:

	特に優れている Outstanding	優れている Excellent	良い Good	普通 Average	やや弱い Poor
論理的思考力 Logical thought	☐	☐	☐	☐	☐
表　現　力 Self-expression	☐	☐	☐	☐	☐
創　造　力 Originality	☐	☐	☐	☐	☐
指　導　力 Leadership	☐	☐	☐	☐	☐
自　立　性 Independence	☐	☐	☐	☐	☐
協　調　性 Ability to work with others	☐	☐	☐	☐	☐
行　動　力 Energy	☐	☐	☐	☐	☐

3．志願者の学習能力、人物について、評価者の意見を書いてください。
Please describe any academic abilities and/or personal qualities of the applicant which you think are relevant to this evaluation.

4．評価者情報
Evaluator's information

評価者氏名： Evaluator's name	
記入日： Date	年 year　月 month　日 day
所属機関（学校・会社等）： Institution (school/company)	
役職： Title	
住所： Present address	〒
電話： Phone	
ファックス： Fax	

［様式4］総合型（スポーツ）

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

注意：あなたの身近にいて、あなたの日常の行動内容をよく理解している方、例えば高校の担任の先生、部活を行っている場合はクラブの監督、顧問の先生、或いはボランティア活動など課外活動を行っている場合はその活動の責任者などに作成を依頼してください。ただし、3親等以内の親族は除きます。

本書を作成される方へ

① 本書は、「スポーツ選抜」においてはいわゆる「推薦書」としての位置づけではありません。
② 志願者に対する「評価」として作成をお願いするものです。
③ 2.についてはワープロ等で印刷したものを貼付されても差し支えありませんが、はがれないようにしっかりと糊付けしてください。
④ 署名欄に限っては、必ず直筆でご記入ください。
⑤ 厳封のうえ、志願者にお渡しください。

1) The person who gave you this form is applying for the sports special selective entrance exam of J. F. Oberlin University.
2) This form is not an official letter of recommendation. However, we would appreciate your candid evaluation of the applicant.
3) Please fill out the form in pen or print your comments and attach the printout securely to the form.
4) Please fill out the “Evaluator’s name” line in pen only.
5) After completing the form, please seal it in an envelope, sign your name across the seal, and return it to the applicant.

【人物評価書】 厳封扱い

Applicant Evaluation Form

志願者氏名
Applicant’s Name _____

1．志願者の備えている学習意欲・能力・人物等について、下記の項目ごとに評価して、該当する欄に「✓」を記入してください。
Please rate the applicant in the following categories:

	特に優れている Outstanding	優れている Excellent	良い Good	普通 Average	やや弱い Poor
学習への取り組み姿勢 Academic ability	☐	☐	☐	☐	☐
当該スポーツへの取り組み姿勢 Athletic ability	☐	☐	☐	☐	☐
倫　理　観 Moral character	☐	☐	☐	☐	☐
社　会　性 Sociability	☐	☐	☐	☐	☐
責　任　感 Sense of responsibility	☐	☐	☐	☐	☐
協　調　性 Ability to work with others	☐	☐	☐	☐	☐

２．志願者の学習能力、人物について、評価者の意見を書いてください。
Please describe any academic abilities and/or personal qualities of the applicant which you think are relevant to this evaluation.

３．評価者情報
Evaluator's information

評価者氏名： Evaluator's name	
記入日： Date	年 year　月 month　日 day
所属機関（学校・会社等）： Institution (school/company)	
役職： Title	
住所： Present address	〒
電話： Phone	
ファックス： Fax	

［様式5］　総合型

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志　願　者　氏　名

活動報告書

高等学校等入学後から出願に至るまでの期間における活動実績を、具体的に書いてください。本人が作成したうえで、あなたの活動実績を認めてくださる方に次ページの署名を依頼してください。なお、実績内容の**別添資料**がある場合は、右端の資料番号欄と該当する資料に同一番号を記入し、提出してください。

●注意事項

提出書類・資料は返却しませんので、重要なものはコピーを提出してください。

西暦年	月	学年	年齢	実　績　内　容	資料番号

学校その他の団体等における主な活動歴（実績内容と重複記載可）

期　　間（西暦）	時間/週 注1	週/年 注2	学校団体等組織の名称	担当の役職	資料番号
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					

注１：週に何時間活動しているかを記入してください。　注２：年に何週間活動しているかを記入してください。

各種競技・コンクール・展覧会・懸賞論文等参加歴（実績内容と重複記載可）

西暦年	月	年齢	競技・コンクール等名称	主催機関	成績結果・公式記録	資料番号

団体活動・競技の場合は記入してください。

団体における役割・実績

スポーツ競技の場合は記入してください。

特に優れた運動能力とその内容・記録

資格・検定・段位等の取得（実績内容と重複記載可）

西暦年	月	年齢	資格等の名称	資格級位	資格認定機関名	資料番号

［署名欄］※この欄には志願者以外の方の署名を必ずもらってください。（保護者でも構いません）

以上の記載に誤りはありません。

住　所

TEL

志願者との関係　　氏　名

［様式6］　芸術文化学群

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志　願　者　氏　名

活動報告書（芸術文化学群版）

これまでの芸術分野等における活動実績を具体的に書いてください。活動実績は、出願する専修の分野と異なるものでも構いません。本人が作成したうえで、あなたの活動実績を認めてくださる方（保護者等）に次ページの署名を依頼してください。なお、実績内容の別添資料がある場合は、右端の資料番号欄と該当する資料に同一番号を記入し、提出してください。面接では、記載内容についての質問を行います。

【注意事項】
提出書類・資料は返却しませんので、重要なものはコピーを提出してください。

１．芸術分野に関する活動実績（校内外および規模の大小は問いません）

【記載内容】
バレエ、ピアノ、絵画などの習い事（音楽の場合は楽器名）
学内の文化祭、学外の団体等における活動（活動の概要、制作した作品やパフォーマンスの内容）
各種コンクール、発表会、展示会、懸賞論文などの出場や参加歴・応募歴　　など

西暦年	月	年齢	実　績　内　容	資料番号

２．課外活動、部活動歴における芸術に関する活動歴（実績内容との重複記載可）

期　間（西暦）	時間/週 注1	週/年 注2	学校団体等組織の名称	担当の役職	資料番号
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					

注１：週に何時間活動しているかを記入してください。　注２：年に何週間活動しているかを記入してください。

３．芸術鑑賞歴

印象に残る公演・作品（芝居、ダンス、オペラ等）、コンサート、美術展、映画等を記入してください（5 件以内）。

鑑賞歴およびその内容	
1	
2	
3	
4	
5	

４．好きな芸術家、アーティスト、評論家（3 人以内）。

芸術家名		代表作品	
好きな理由			
芸術家名		代表作品	
好きな理由			
芸術家名		代表作品	
好きな理由			

５．芸術分野以外に関する活動実績

西暦年	月	年齢	実　績　内　容	資料番号

６．資格・検定・段位等の取得（1.および 5.で記入した実績内容と重複記載可）

西暦年	月	年齢	資格等の名称	資格級位	資格認定機関名	資料番号

［署名欄］※この欄には志願者以外の方の署名を必ずもらってください(保護者等)。

以上の記載に誤りはありません。

住　所

TEL

志願者との関係　　氏　名

［様式7］　芸術文化学群
（小論文型）

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志　願　者　氏　名

小　論　文

以下のテーマについて、あなた自身の考えを800字以内で論じなさい。

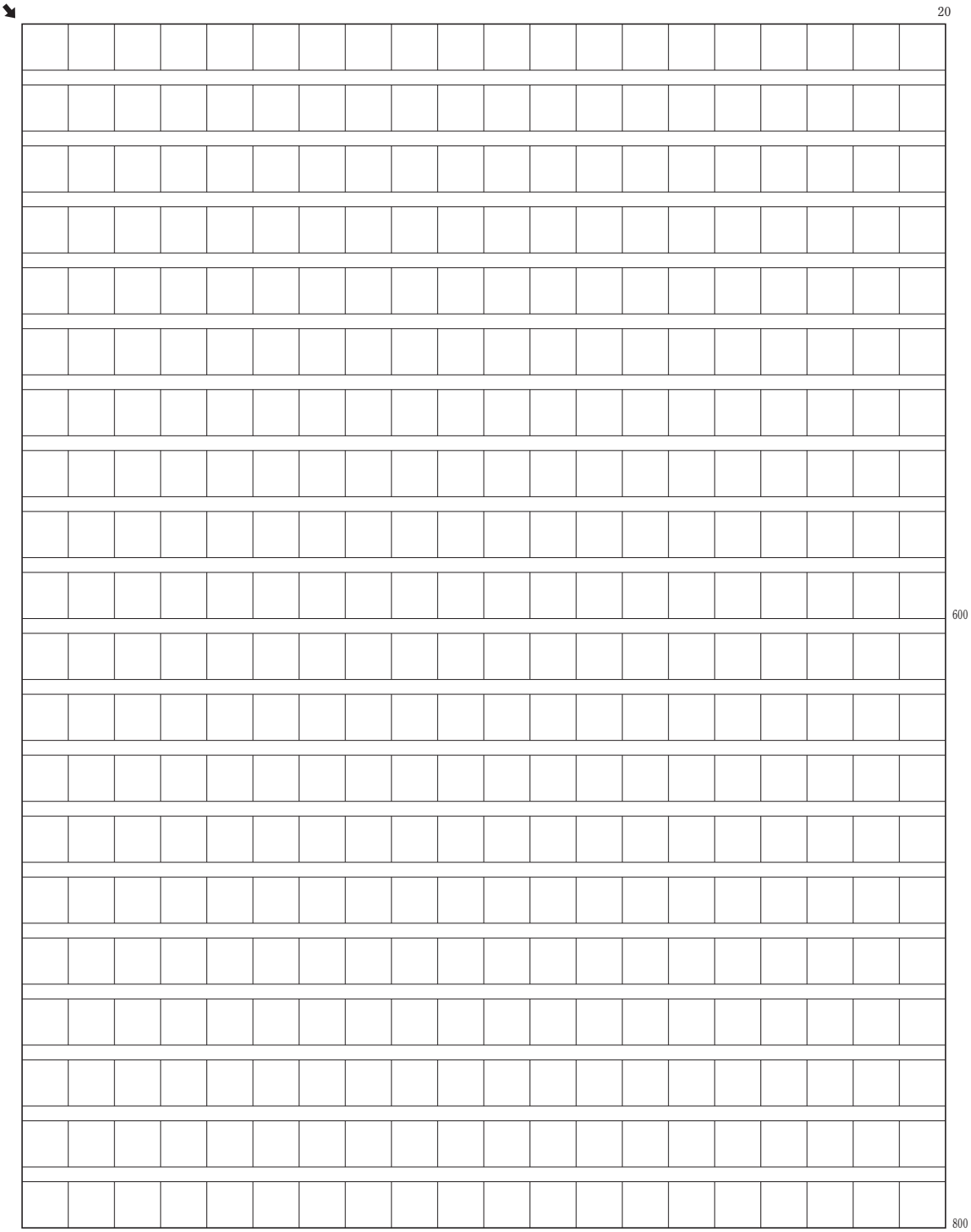
小論文テーマ
芸術と社会

（横書き→）

20

200

400


20
600
800

［様式8］総合型（キリスト者）

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志　願　者　氏　名

キリスト教活動申告書

洗礼を受けてから、今日にいたるまでのあなた自身の信仰生活について述べてください。

桜美林大学へ進学後、あなたはキリスト者としてどのような学生生活を送りたいと考えていますか。
キリスト教関連の活動について（チャペルアワーやキリスト教センター主催のワークキャンプへの参加など）、入学後の抱負を述べてください。

［様式9］公募制学校推薦型

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

推　薦　書　厳封扱い

年　　月　　日

桜 美 林 大 学 長　殿

公募制学校推薦型選抜にあたり、桜美林大学のアドミッションポリシーを十分に理解した下記の者を、
学業成績および自立した人物としても適格であると判断し、責任をもってここに推薦いたします。

学校名

所在地

電　話　　（　　）

学校長名　　公印

ふ り が な		男	西暦　　年　　月　　日生
生 徒 氏 名		女	

注）学級担任が必要事項を記入し、記名押印後、厳封のうえご提出ください。

出 欠 状 況	調査書に記載された欠席日数の合計　　日	全体の評定平均値
健 康 状 況 ○ で か こ む	A　普通　　B　その他（　　）	

推薦の理由並びに特記事項等
① 本選抜で推薦するにあたって学業上の特別な理由について（学習活動の適性など）
② 本人の学習・生活態度等について（社会性、協調性、道徳性 など）
③ 志望学群に適していると判断された特記すべき事項について（志望動機の明確性、将来の目的意識）
学級担任　氏名　　㊞

「推薦の理由並びに特記事項」の記入上の注意

・志望先の学群が定める「入学者受入れ方針（アドミッションポリシー）」は、本要項に掲載しています。志願者がこのアドミッションポリシーを十分に理解していることから、それをふまえて、志願者にかかる推薦したい理由について、①～③の項目についてご記入ください。記入にあたっては、各項目の後に記している（　　）の事項や調査書における「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項の詳述であっても構いません。

［様式10］　公募制学校推薦型
〈リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群
ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群〉

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志　願　者　氏　名

読書リポート

学群ごとに指定された課題図書の内容を要約したうえで、特に印象に残った点に触れながら、あなた自身の考えなどを600～800字程度で論じなさい。
グローバル・コミュニケーション学群の志願者は英語で書いても構いません。英語で記述する場合は次ページを使用し、300語～400語程度で記入してください。

課　題　図　書　名

（横書き→）黒のボールペンで記入してください。　Please use a ballpoint pen with black ink.

600

800

［様式11］　公募制学校推薦型

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

志　願　者　氏　名

志望理由書

あなたがこの学群を志望する理由を600字～800字程度で述べなさい。また、その際、4年間の学修を通じてどのように成長し、将来、どのように社会に貢献したいのかについても述べなさい。グローバル・コミュニケーション学群の志願者は英語で書いても構いません。英語で記述する場合は次ページを使用し、300語～400語程度で記入してください。

（横書き→）黒のボールペンで記入してください。　Please use a ballpoint pen with black ink.

600

800

［ 様式12 ］

受験番号	＊

＊欄は記入しないでください。

留学にかかる経費負担計画書

志願者氏名	
フリガナ	

桜美林大学に留学する間の学納金等の費用について、該当する支出元すべての□にチェック（レ点）をし、金額を明記してください。

合計金額が、１年間の学納金を十分賄える金額となるように記入してください。

支出元		金額（単位：日本円）
□	本人	約＿＿＿＿＿＿万円／年
□	親族 （氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） （志願者との関係：＿＿＿＿＿＿＿＿） （住所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	約＿＿＿＿＿＿万円／年
□	政府またはその他財団 （奨学金名称等：＿＿＿＿＿＿＿＿）	約＿＿＿＿＿＿万円／年
□	その他 （詳細：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	約＿＿＿＿＿＿万円／年
	合計：	約＿＿＿＿＿＿万円／年

上記に示しました内容に相違ないことを誓約いたします。

志願者署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日付：＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

［様式13］

桜美林大学 個別の入学資格審査申請書

桜美林大学長　殿

桜美林大学の入学資格審査を受けたいので、必要書類を添えて申請します。

（フリガナ）
氏　　名（自署）　　国　籍

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）　　性　別　　男　・　女

〒　　TEL　自宅

住　　所　　TEL　携帯

出願予定の学群　　出願予定の選抜方式

（学習歴）

①　初等教育（小学校相当）
教育施設名
教育施設の住所
在 学 期 間　　年　　月　入学　～　　年　　月　卒業

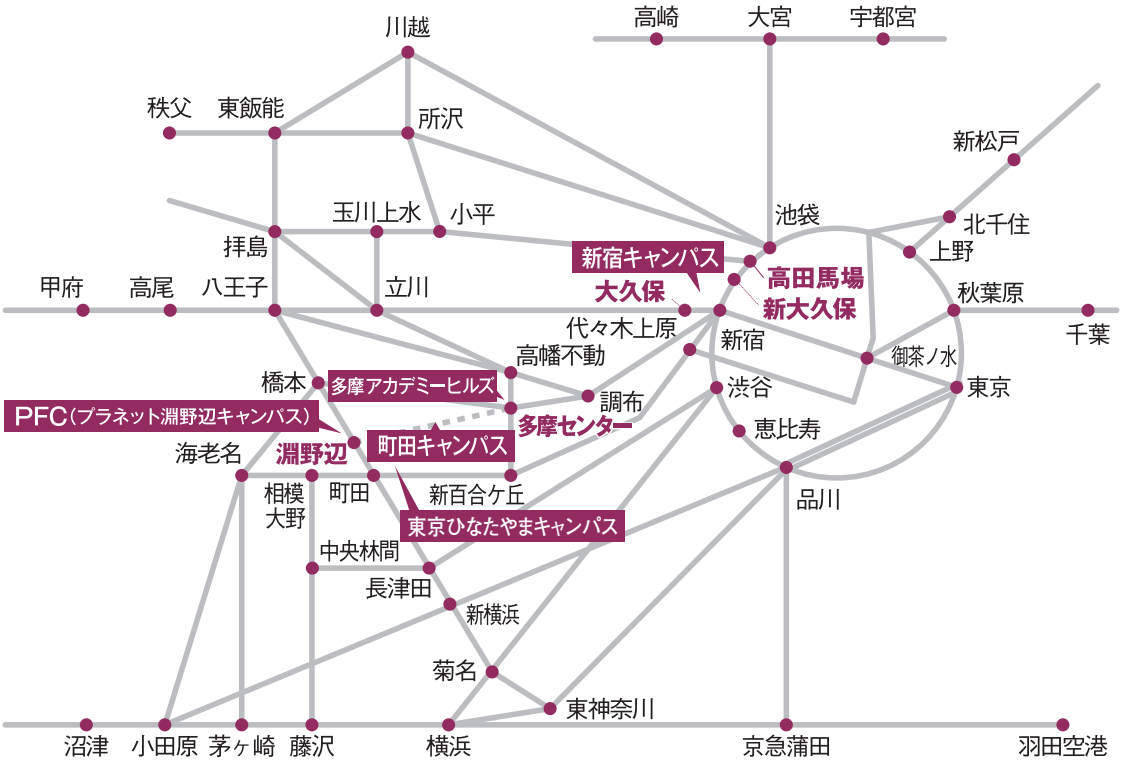
②　中等教育（中学校相当）
教育施設名
教育施設の住所
在 学 期 間　　年　　月　入学　～　　年　　月　卒業

③　中等教育（高等学校相当）
教育施設名
教育施設の住所
在 学 期 間　　年　　月　入学　～　　年　　月　卒業

④　教育施設名
教育施設の住所
在 学 期 間　　年　　月　入学　～　　年　　月　卒業

注：学習歴欄で転校等により、２ヶ所以上在籍がある場合は本用紙をコピーし、使用してください。

■鉄道マップ



ANNIVERSARY 100th
J. F. OBERLIN 2021

桜美林学園は、2021年に創立100周年を迎えます。

桜美林大学

■ お問い合わせ
〒194-0294 東京都町田市常盤町3758　入学部インフォメーションセンター
TEL:042-797-1583　http://www.obirin.ac.jp/　メール:info-ctr@obirin.ac.jp
〈平日 9:00 ～ 18:00　土 9:00 ～ 17:00　日･祝 10:00 ～ 17:00〉

NIAD-QE UNIVERSITY Excellent Internationalization of Higher Education March 2017

Japan Institution for Higher Education Evaluation JIHEE since 2004 III UNIVERSITY 2019.4-2026.3

2020.8.1